

# 株式会社アルファ 第2四半期決算概要

～現中期経営計画の見直しと次期中期経営計画の方向性について～

---

証券コード 3434

東京証券取引所 第一部上場

2021年12月10日

株式会社 **アルファ**

1.会社紹介

2.自動車部品事業の紹介

3.セキュリティ機器事業の紹介

4.2022年3月期 第2四半期決算概要

5.中期経営計画の見直しと次期中期経営計画について

6.今後の事業戦略について

【付録】 参考資料

# 1. 会社紹介

---



## 塚野 哲幸

代表取締役社長

1964年7月生

福島県出身

1987年3月

日本大学工学部卒業

1987年4月

当社入社

2009年4月

自動車部品事業部 設計部長

2017年4月

技術本部 副本部長 設計部長

2018年4月

執行役員 就任

2021年4月

社長執行役員に就任

2021年6月

代表取締役社長に就任

### 【所信表明】

- “あきらめない”
- “逃げない”
- “弱音を吐かない”

当社の事業を支えて頂いている皆様にとって、  
より価値のある会社を目指して全力で取り組んでまいります。

社名：株式会社アルファ /ALPHA Corporation

所在地：神奈川県横浜市

資本金：2,760百万円

代表者：代表取締役社長 塚野 哲幸

売上高：47,612百万円（2021年3月期）

従業員数：単体 419名、連結 4,446名（2021年3月末日）

事業内容：キー&ロックを中心とした自動車部品・住宅製品・コインロッカー製品の開発・製造・販売  
およびサービス・リース・オペレーション

沿革：

1923年 創業、建築金物およびシリンダー錠の製造販売を開始

1933年 自動車キーセットの製造を開始

1938年 法人組織に改め、社名を国産金属工業株式会社とする

1964年 コインロッカーの製造・販売を開始

1990年 社名を国産金属工業株式会社から株式会社アルファに変更

2004年 東京証券取引所市場第二部に株式を上場

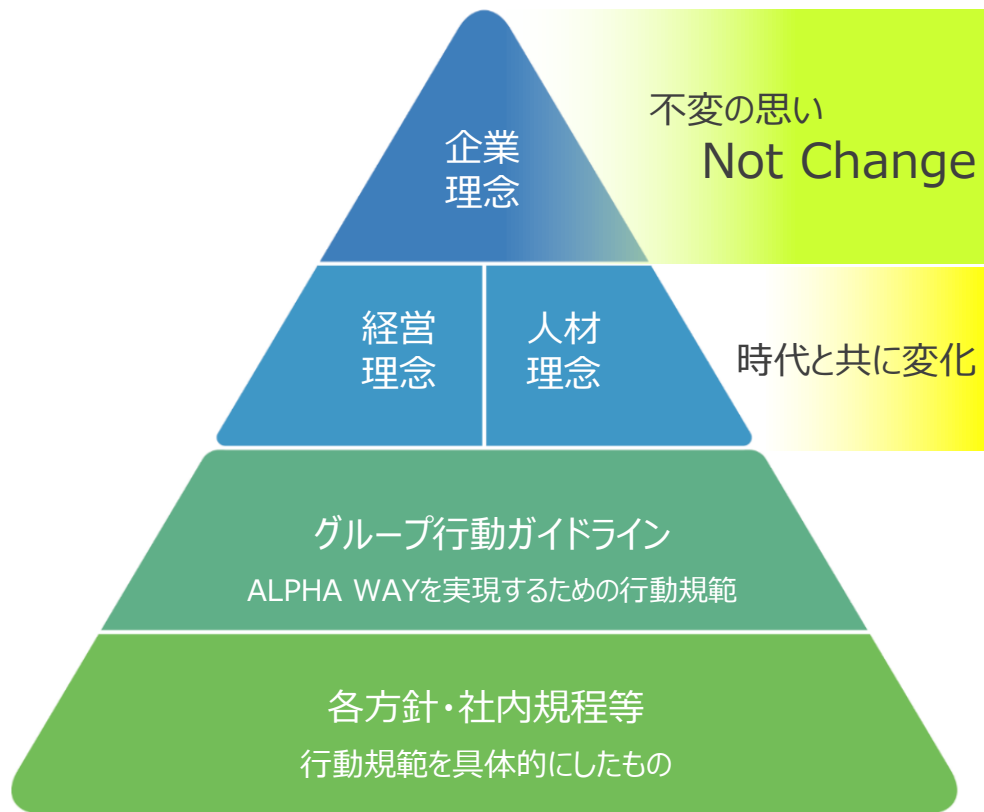
2005年 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定



▲本社外観

ALPHA WAYは、アルファのあるべき姿（ゴール）を明文化し、アルファグループの企業活動の拠り所となる企業理念・経営理念・人材理念を示したものです。

## System of ALPHA WAY



### 企業理念

日々新たに、自らを変えていく

### 経営理念

個々の質を高め、お客様に喜ばれる価値を創造・提供します

### 人材理念

自主自立の精神をもって自ら考え、行動し、仕事を通じて自己成長し続けます

## アルファの歩み

ALPHA History

時代をリードする様々な製品を通じ、  
人々の安全・安心な生活を支えてきました

Supplying many highly advanced products to help people enjoy safe and secure lives

100年企業を  
目指して

1923



創業、建築金物および  
シリンダー錠の製造・販売を  
開始

1938

法人組織に改め、社名を  
国産金属工業とする

1964



米国フレキシブル社と技術提携し、  
コインロッカーの製造・販売を開始

1990



社名を国産金属工業から  
株式会社アルファに変更

1933

カーメーカー向け自動車キーセットの  
製造を開始



1955

南京錠「#1000シリーズ」の  
製造・販売を開始



1984

キーレス玄関錠  
「デジタルロック」  
の製造・販売  
を開始



1995

世界初の中空成形による  
アウトサイドドアハンドル  
を開発



2000

ピッキング防止性能の  
高い住宅用取替錠「FB  
ロック」の製造・販売を  
開始



2002

日本初自動車向け  
インテリジェントキー  
の発売



2004

東京証券取引所市場  
第二部に株式を上場  
翌年、  
第一部に指定替え

2005

ICカード対応モデルの  
コインロッカーの  
製造・販売を開始



2012

YKK AP株式会社と  
良品率の高い住宅玄関用電気錠  
「スマートコントロールキー」を  
共同開発



2016

群馬工場敷地内に  
太陽光発電設備を  
建設、売電を開始

2014

賃貸住宅用高性能  
電気錠edロックPLUSを  
発売



2005

赤外線式バックドアセンサーが  
日産グローバルイノベーション賞を受賞



山梨県南アルプス市に太陽光発電設備を  
建設、売電を開始

2023

創業100周年

■ 2021年12月現在：5 Region / 10カ国 19拠点（海外営業所含む）



自動車部品事業：5 Region による地産地消の推進

セキュリティ機器事業：生産拠点をタイに集約。タイから日本、東南アジア、中国へ販売



# 世界に広がるアルファの拠点

グループ全体：11カ国23拠点  
 (海外拠点：10カ国19拠点)

## グローバル展開が急速に拡大

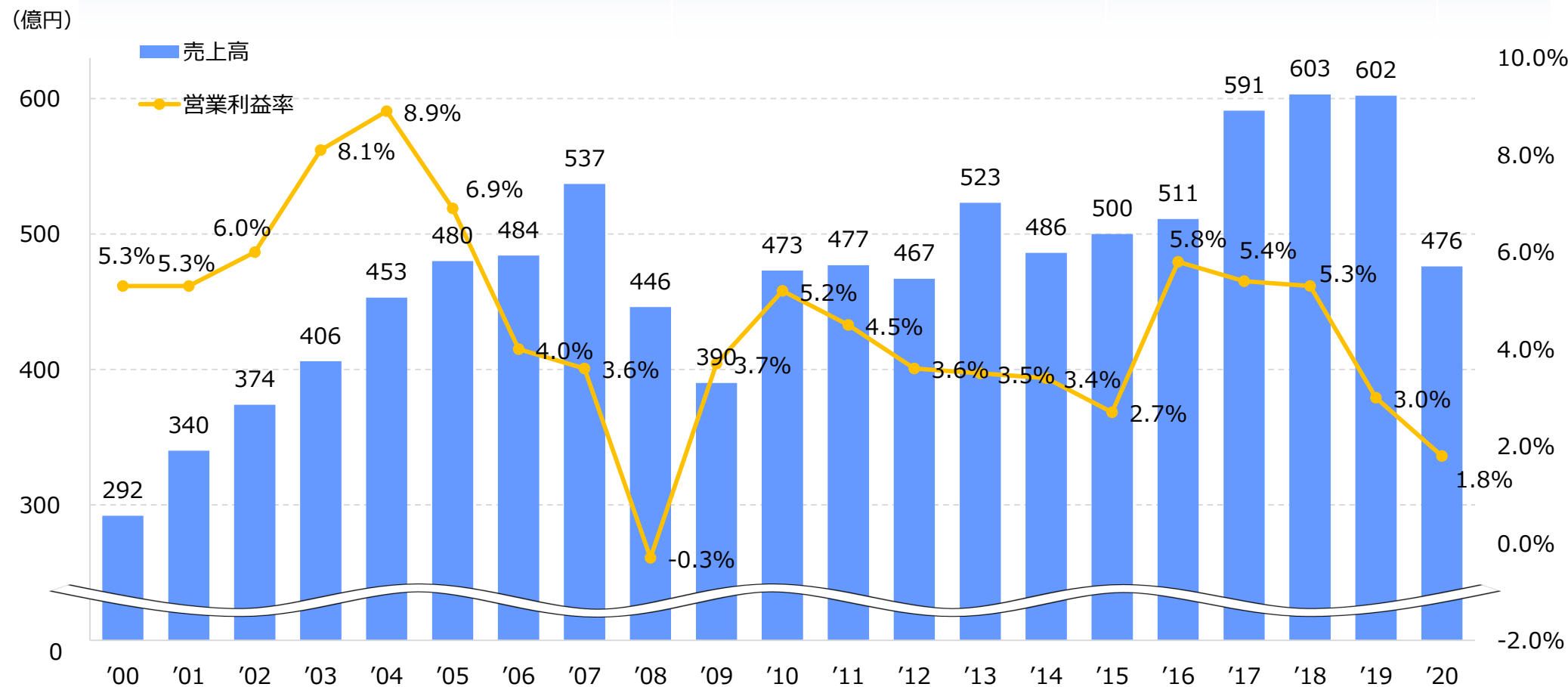


**グローバル進出期**  
 (自動車生産拠点の設立)

**第1次 拡大期**  
 ・住設事業の進出  
 ・自動車 ASEAN地域の補填

**第2次 拡大期**  
 ・欧州地域  
 生産・販売拠点の設立

グローバル進出期	第1次 拡大期	第2次 拡大期	現在
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 自動車部品事業のアジア（タイ、中国）北米（メキシコ）進出</li> <li>▶ 電動ステアリングロックの市場投入と拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ リーマンショック（第2の創業）</li> <li>▶ 自動車部品事業拠点拡充（中国、メキシコに第2拠点）</li> <li>▶ 住設機器事業のタイ生産化</li> <li>▶ リージョン経営の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 自動車ロック事業としてチェコ進出</li> <li>▶ ハンドル事業展開でフランス、スロバキア進出</li> </ul>	



- 自動車部品事業では、クルマにとって必要不可欠なキーセットとドアハンドルを中心に開発、製造
- セキュリティ機器事業では、様々な分野で安全・安心・利便性の高い製品を提供

## 自動車事業

- アウトサイドドアハンドル
- インサイドドアハンドル



- キーセット
- ステアリングロック



## セキュリティ機器事業

### 住設機器部門

- 玄関錠・南京錠・産業用ロック



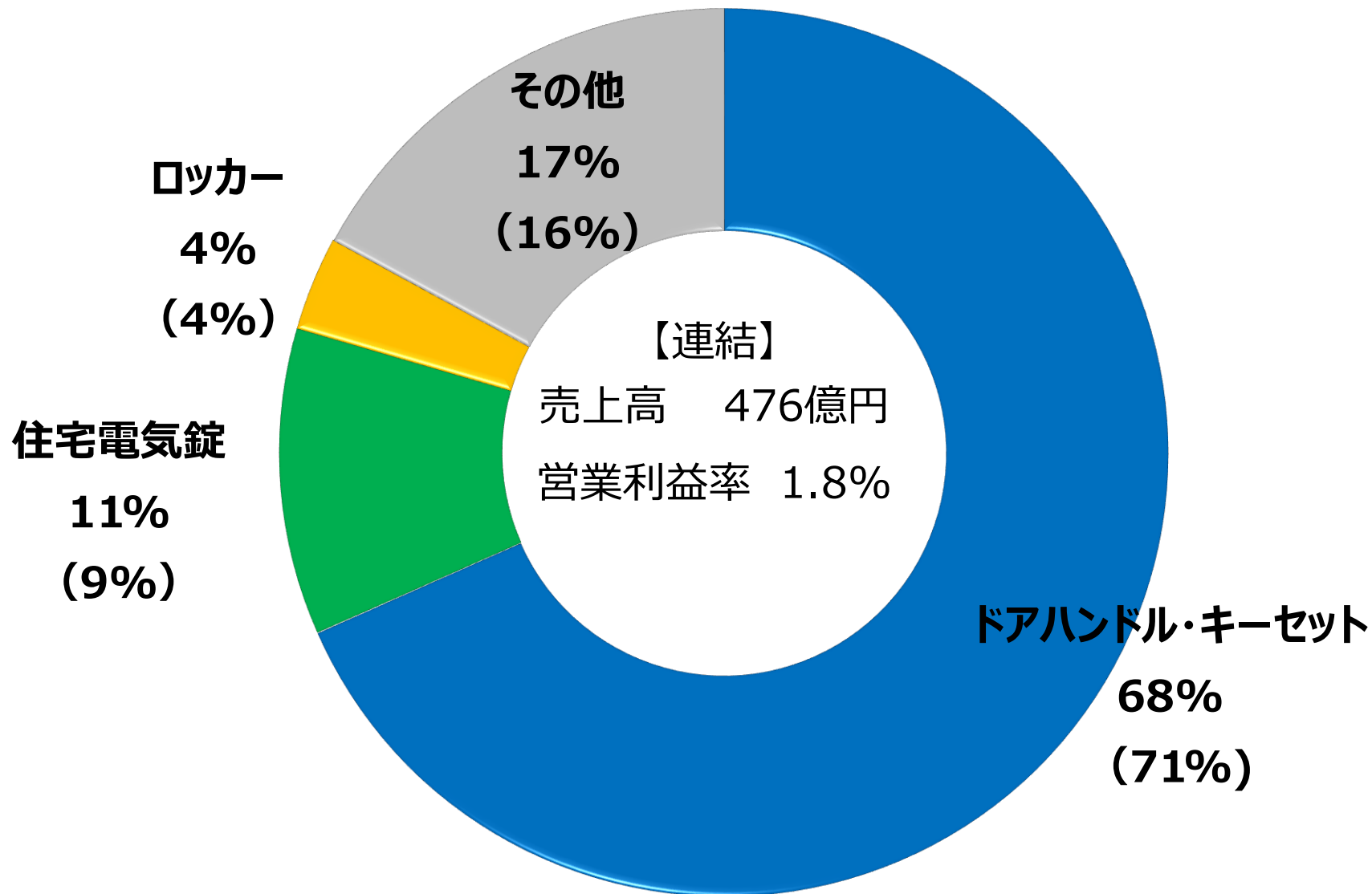
### ロッカー部門

- コインロッカー・貴重品ロッカー



- 受け渡しロッカー



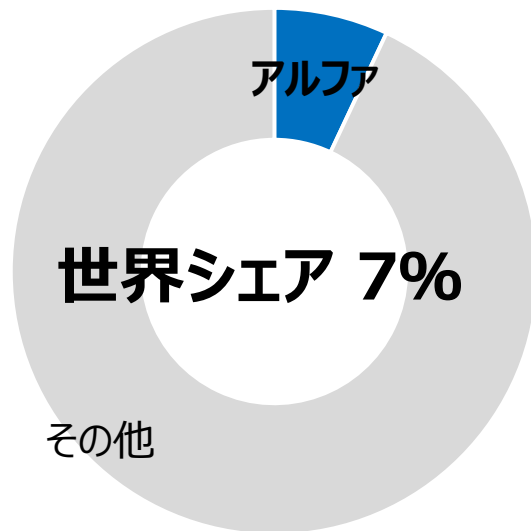


※（ ）は2019年比率

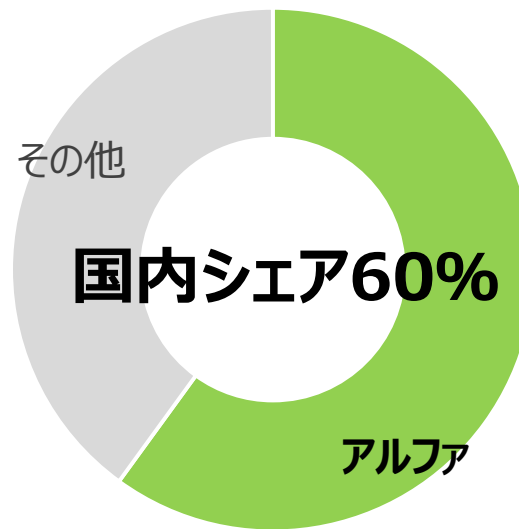
※ 市場シェアは当社売上高実績と市場規模による試算結果

## ニッチトップを複数抱えるアルファ

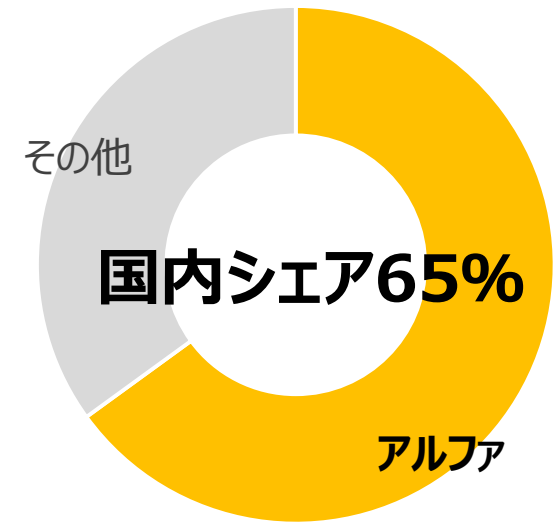
■ ドアハンドル・キーセット



■ 新築住宅向け 電気錠



■ ロッカー  
(ターミナル、レジャー、貴重品)

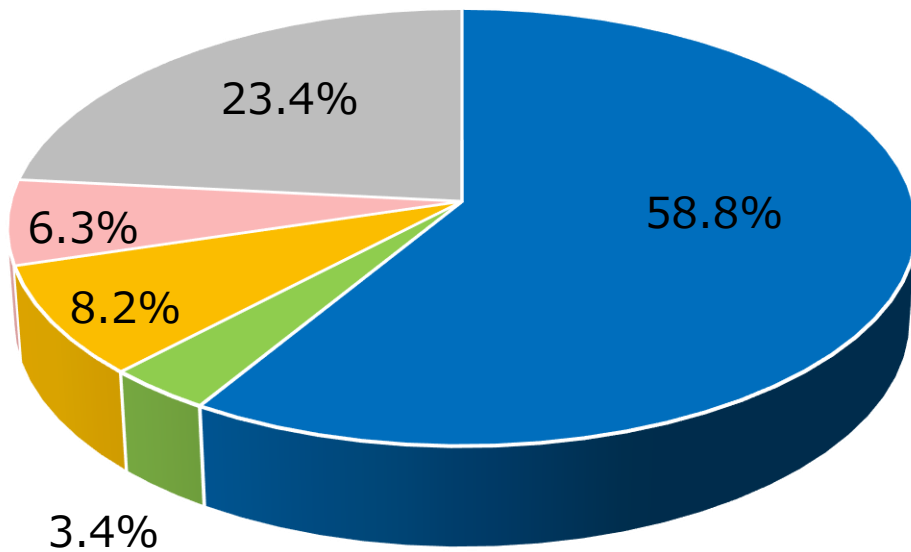


※ 各事業シェア 2020年度実績より算出

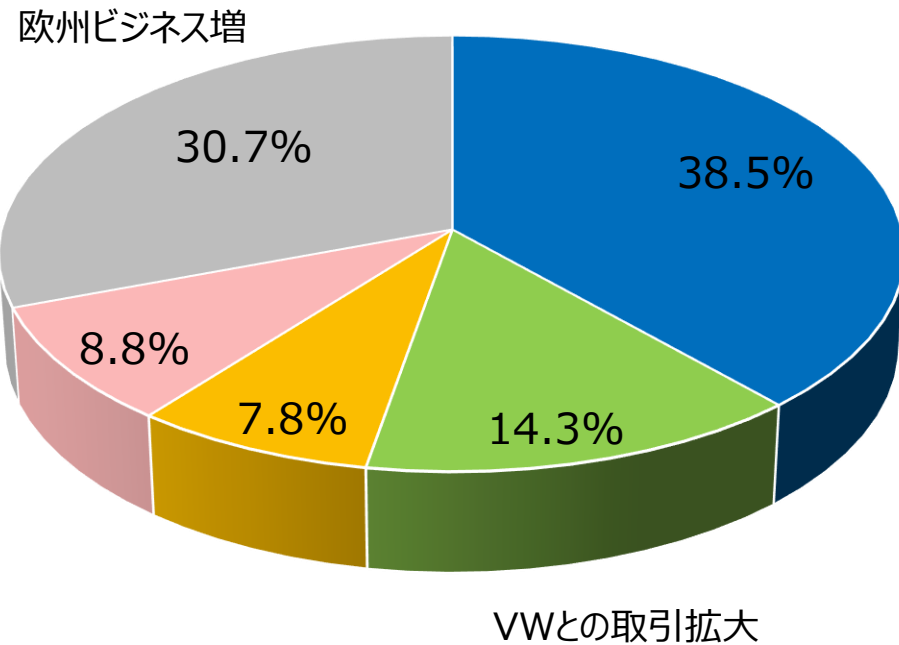
# 主要得意先別売上高比率

■ 連結売上高に占める主要得意先（4社）の推移

2016年度  
76.6%



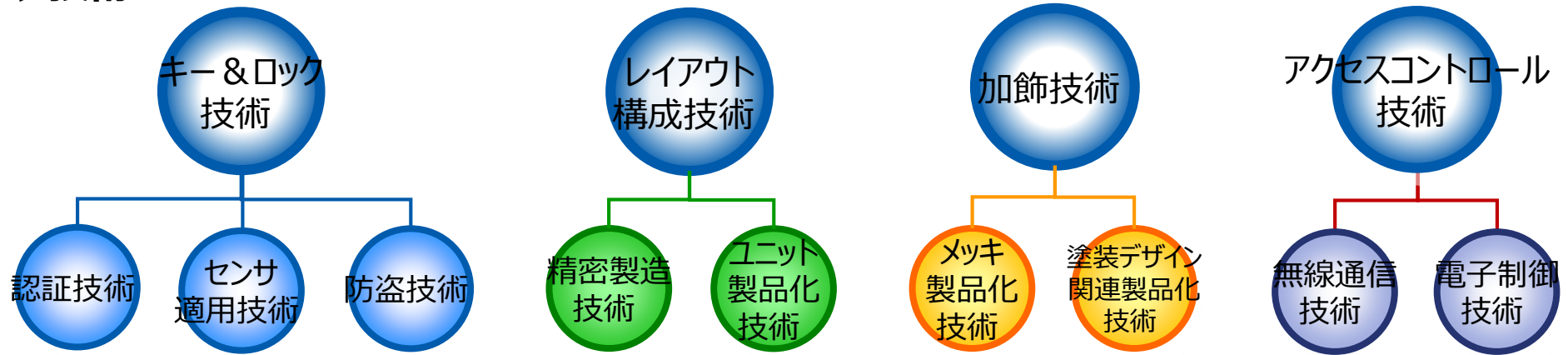
2020年度  
69.3%



■ 日産グループ ■ VWグループ ■ ホンダグループ ■ YKK AP ■ その他

## Innovation for Access

### コア技術

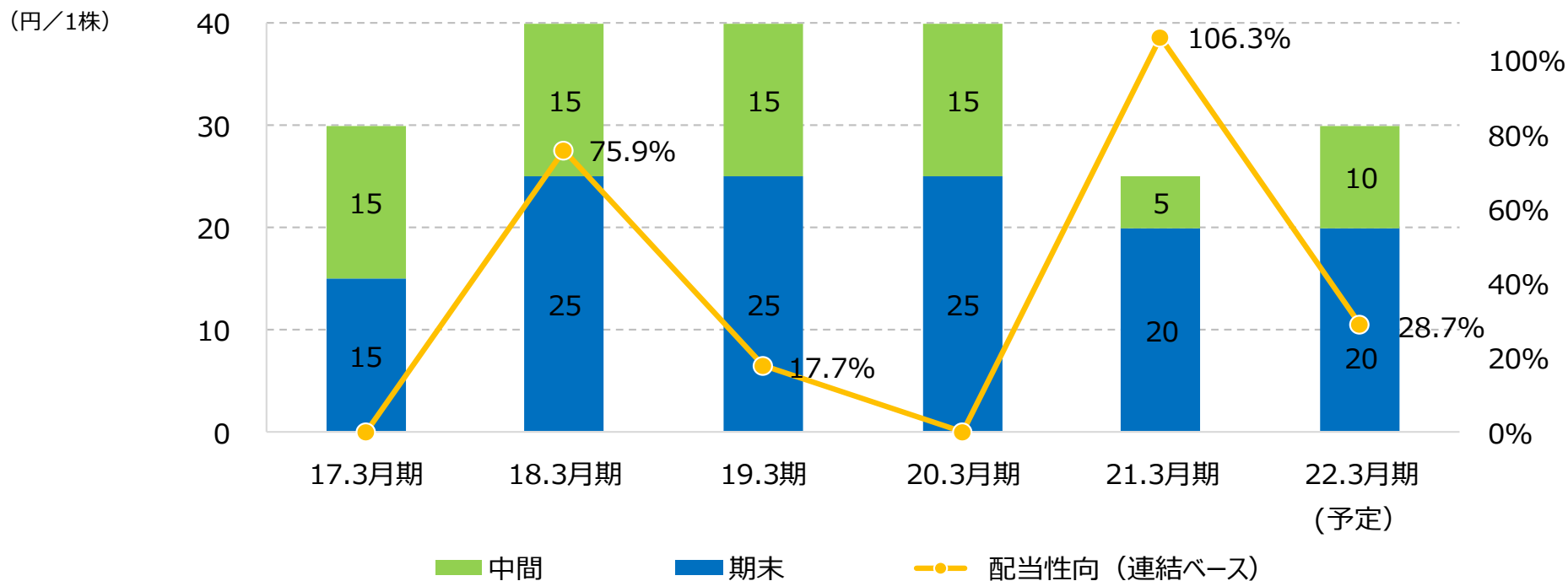


<p>センサーユニット</p>	<p>住宅向け電子錠/ 南京錠</p>	<p>キーセット</p>	<p>コインロッカー</p>	<p>アウトサイドドアハンドル</p>	<p>パッシュキーレスエントリーシステム リモートキーレスエントリーシステム</p>
<p>ESCL/MSCL</p>	<p>インサイドドアハンドル</p>				

# 配当政策・配当金の推移

基本方針：将来に事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していく。

(単位:円)	17.3月期	18.3月期	19.3期	20.3月期	21.3月期	22.3月期 (予定)
中間	15	15	15	15	5	10
期末	15	25	25	25	20	20
<b>合計</b>	<b>30</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>25</b>	<b>30</b>





# 株主構成

## ◆ 株式の状況

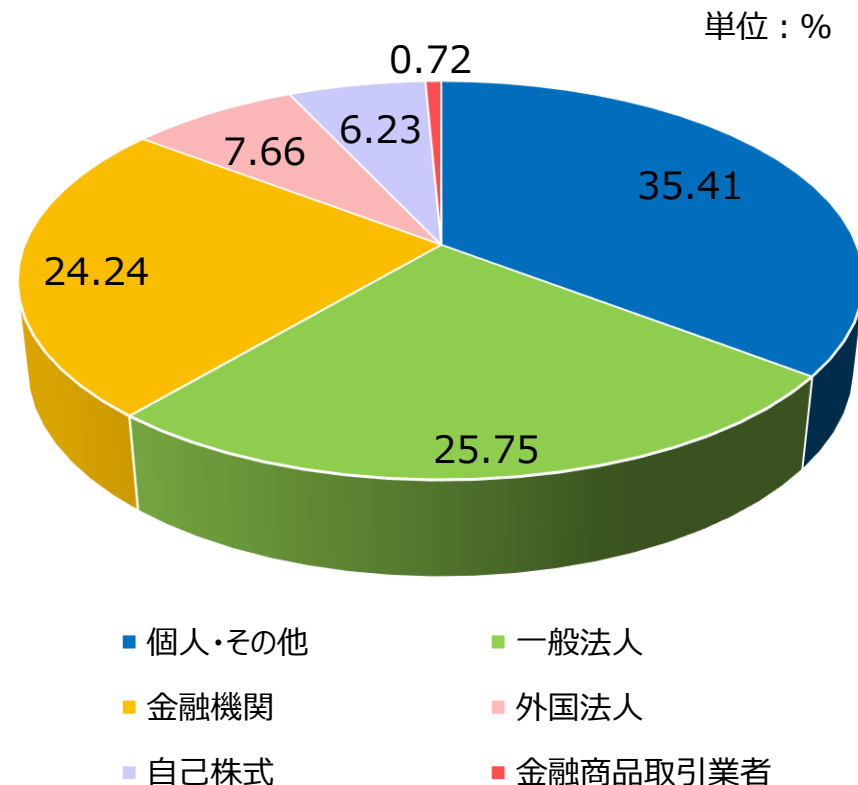
・発行済株式総数	10,200,000 株
・株主数	7,105 名

## ◆ 大株主（上位10社）

株主名	株式数 (千株)	持株比率
ハイレックスコーポレーション	1,710	17.9%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	805	8.4%
日産東京販売ホールディングス株式会社	379	4.0%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	322	3.4%
株式会社三井住友銀行	277	2.9%
アルファ従業員持株会	255	2.7%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	251	2.6%
遠藤 宏	170	1.8%
株式会社みずほ銀行	160	1.7%
株式会社りそな銀行	160	1.7%

※自己株式 634,995株を控除して計算しております。

## ◆ 株式分布状況

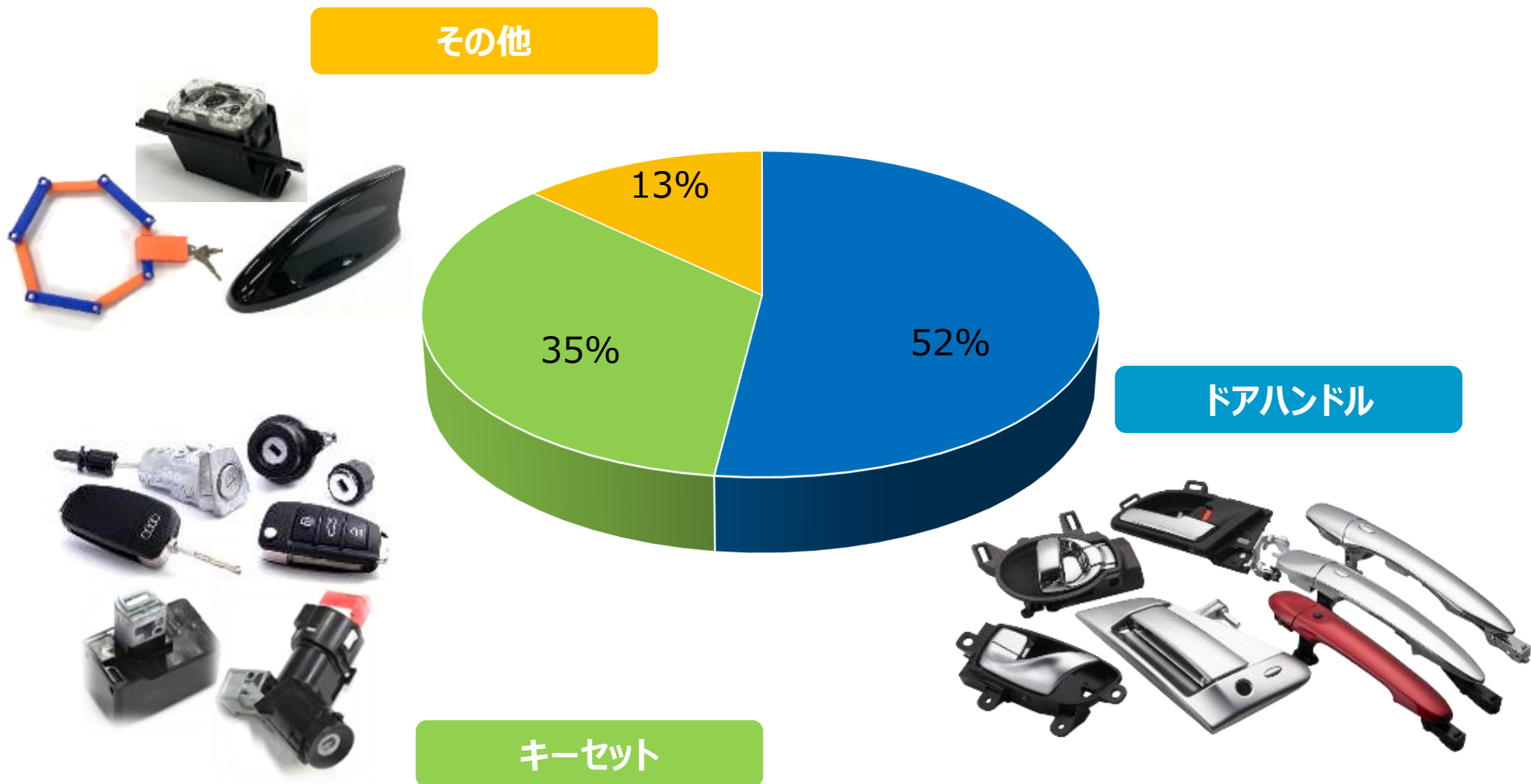


## 2. 自動車部品事業

---

# 自動車部品事業の製品構成比

- ドアハンドル、キーセットを生産
- 売上構成比はドアハンドルが50%以上を占める



# 各製品の特徴・強み

■ 当社の強みは、機構部品と電子部品を融合させたメカトロニクス技術と多種多様な装飾技術



## アウトサイドドアハンドル

スマートエントリー対応。  
メッキ、塗装の多彩な加飾を内製で一貫生産。



## インサイドハンドル

多種形状やサテンメッキ、塗装等の多彩な表面処理を内製で一貫生産。



## エンジンスタータースイッチ

加飾を組み合わせた電子部品



## キーセット

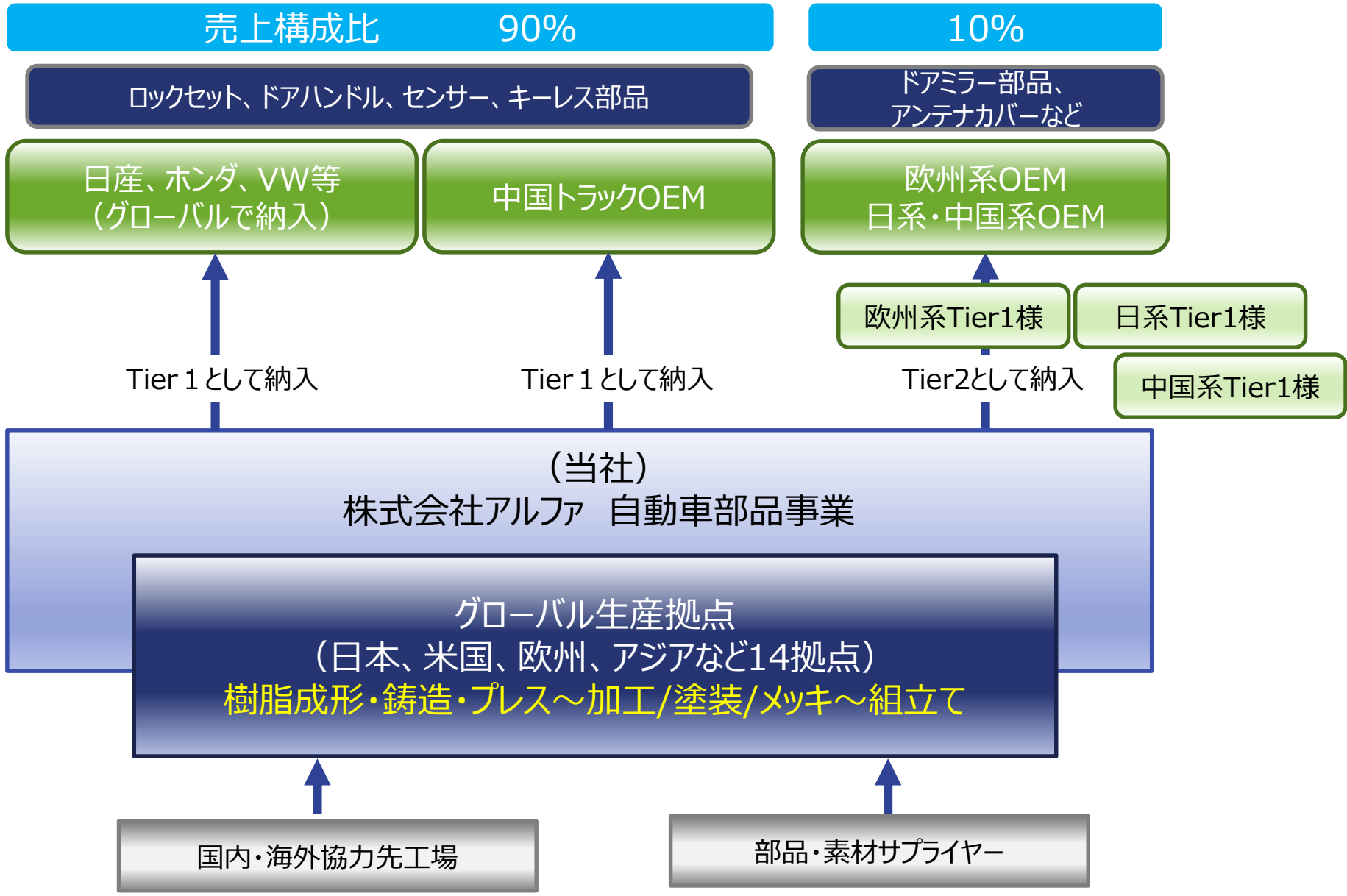
様々なタイプのキー&シリンダーを  
グローバルで同一品質で生産。



## ステアリングロック

防盜性能と軽量化を異種材料の組み合わせで実現。  
機構部品と電子部品を融合したメカトロニクス部品





# 自動車部品事業の取引先構成比

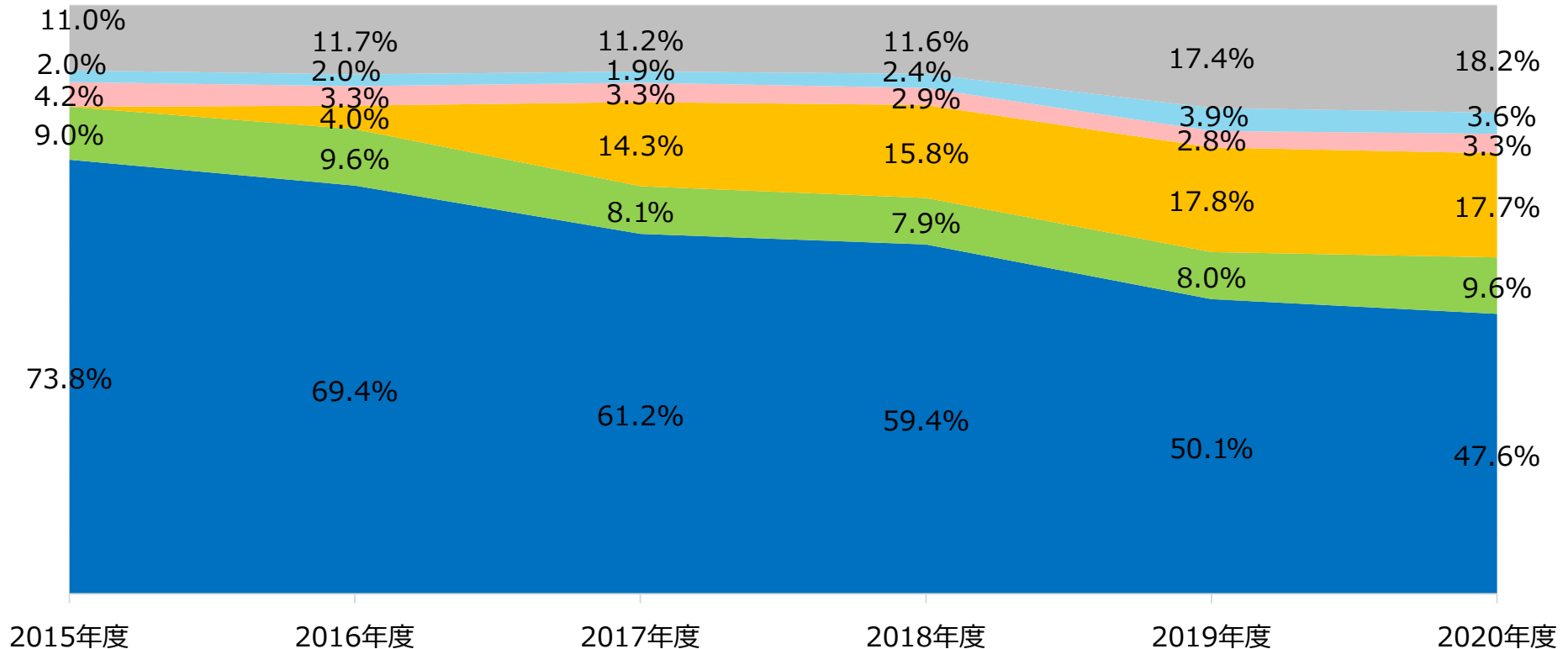
- 日産自動車以外への取引が拡大し、1社依存のリスク低減
- 2016年度より新規取引したVWグループの取引拡大（2015年度 0%→2020年度 17.7%）が大きい

日産自動車以外の  
売上比率

2015年度  
26%

2020年度  
52%

■ 日産グループ ■ ホンダグループ ■ VWグループ ■ いすゞグループ ■ FORD ■ その他



※ 比率は外部向け売上高に対する割合

# 自動車部品事業の業績推移（'00～'20）

- 海外売上高比率が約 85%に達し、グローバル化が大きく進んだ。
- 16-18中計で構築した収益力を基盤としてコロナ禍を克服し成長へと繋げる。

**グローバル進出期**  
(自動車生産拠点の設立)

**グローバル拡大期**  
(海外シフトの加速)

16-18  
前中計

現中期  
経営計画

## 海外シフトの萌芽期

- 02. アルファハイレックス(現ケレタロ)設立
- 04. アルファ広州設立
- ★Honda取引開始

## 5リージョン制の確立

- 11. アルファインドネシア設立  
アルファハリスコ設立
- 12. アルファインドネシア設立  
アルファ襄陽設立
- 13. アルファコリア設立  
アルファパリ事務所開設
- 16. アルファチェコ・蘇州・プエブラ買収
- ★VWグループ取引開始

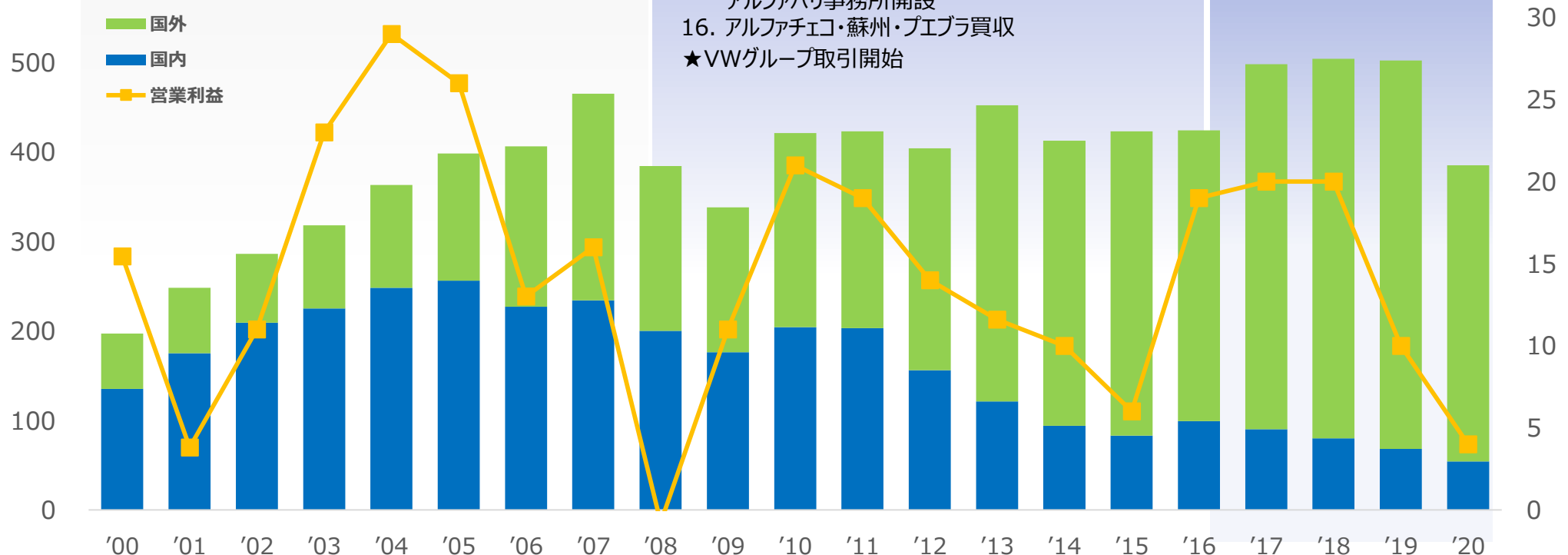
## 収益基盤強化 新事業・新商品

- 18. SPFP買収
- 19. ADV買収
- ★中国Truckビジネス開始

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)

■ 国外  
■ 国内  
■ 営業利益



### **3. セキュリティ機器事業：住設機器部門**

---



# 住設機器部門の製品構成比

■ 売上構成比は、住宅向け電気錠で71%を占めている

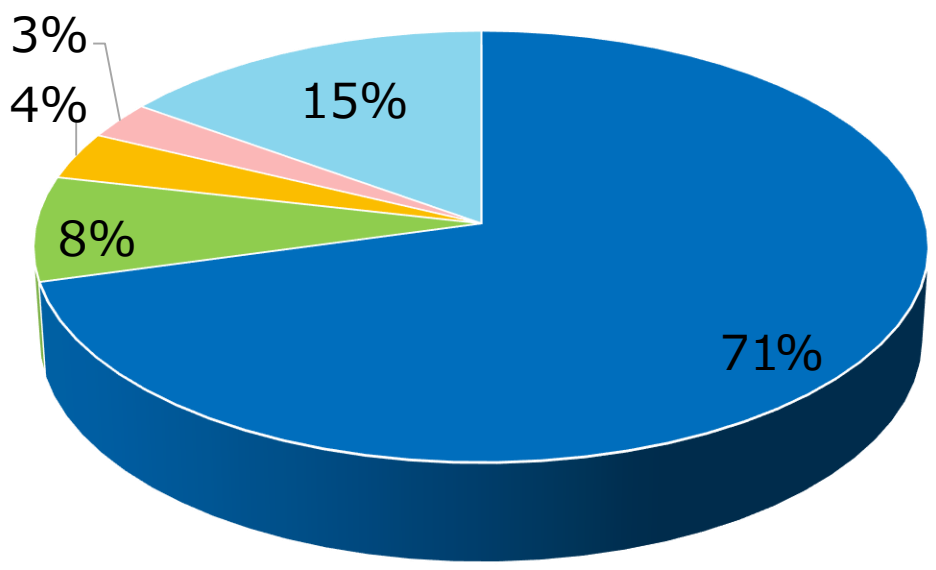
■ 南京錠



■ 住宅向けメカ錠



\*シリンダー形状は機種により異なります



■ 住宅向け電気錠



■ 住宅向け電気錠

■ 住宅向けメカ錠

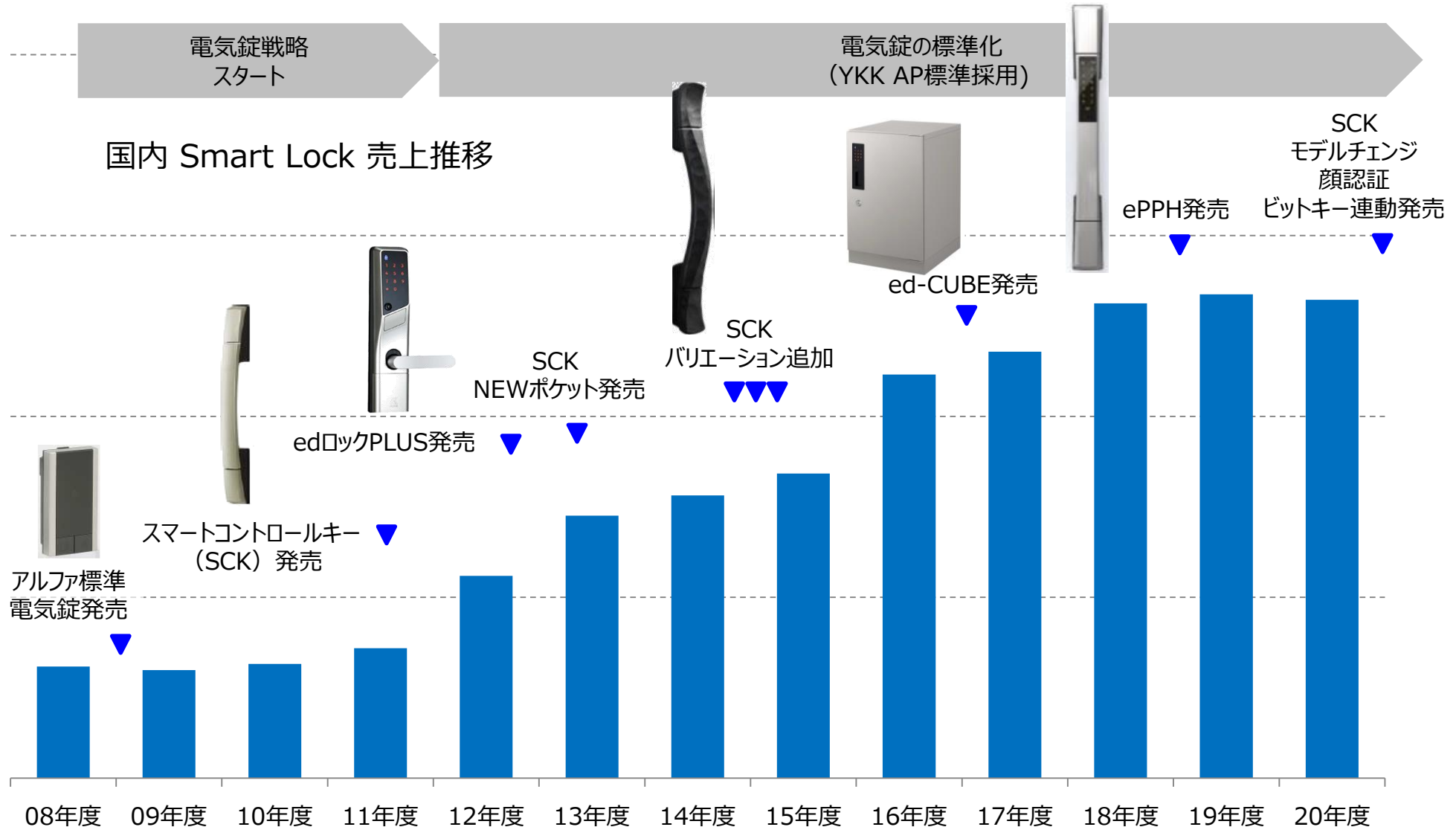
■ 南京錠

■ 産業用ロック, 他

■ 海外

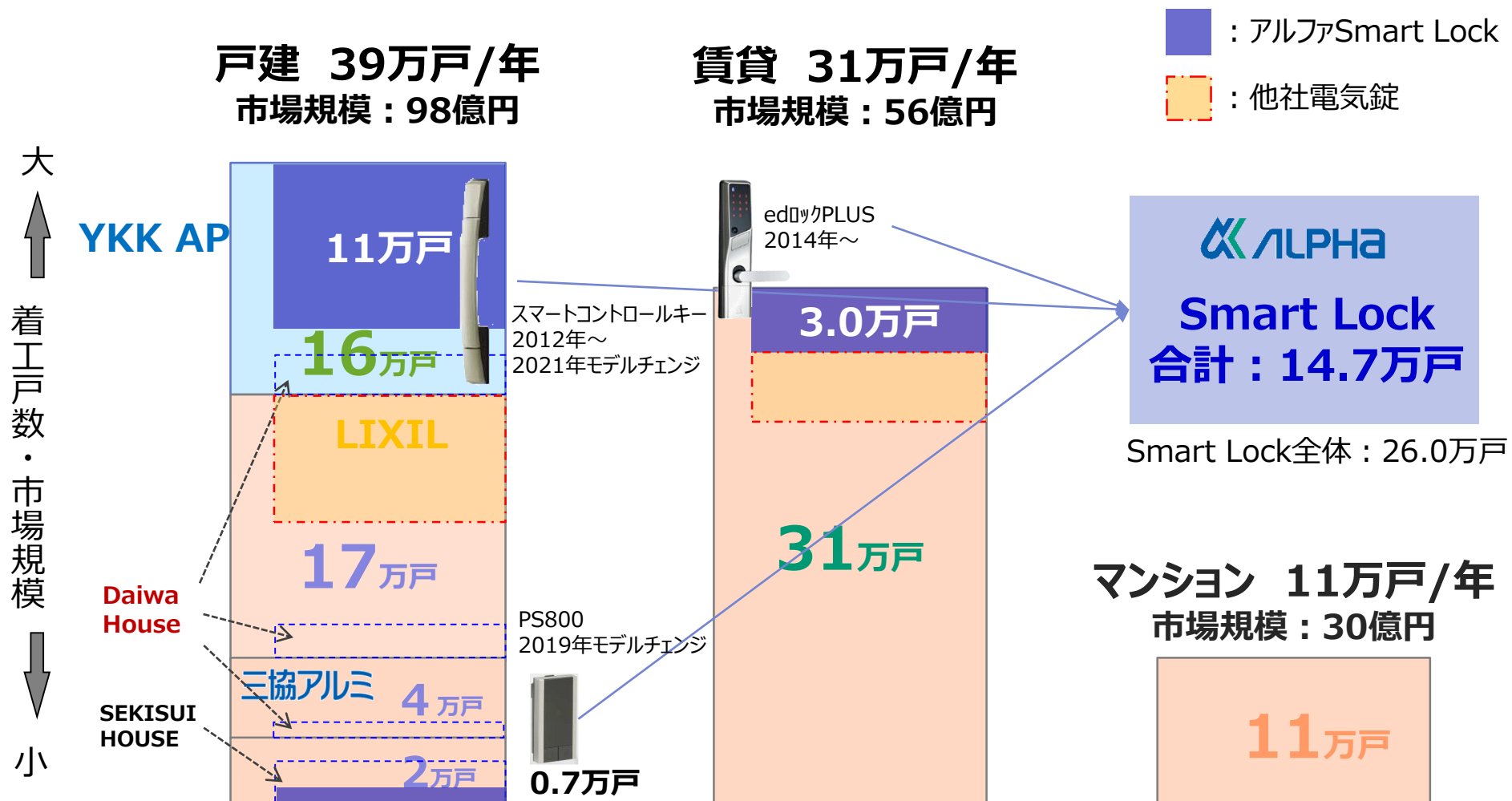
# 住設機器部門 Smart Lock売上の推移

- 2009年から電気錠戦略として、Smart Lockの開発と顧客への採用獲得を重点施策として取組中
- ビットキーと連携しての開発・販売 2020年12月18日両社リリース済



# 各セグメントで高いシェアを持つアルファ

- 新築住宅市場のSmart Lock普及率は32%（26万台） **アルファSmart Lockは18%**（14.7万台）
- Smart Lock（全体数）における**アルファシェアは約60%**



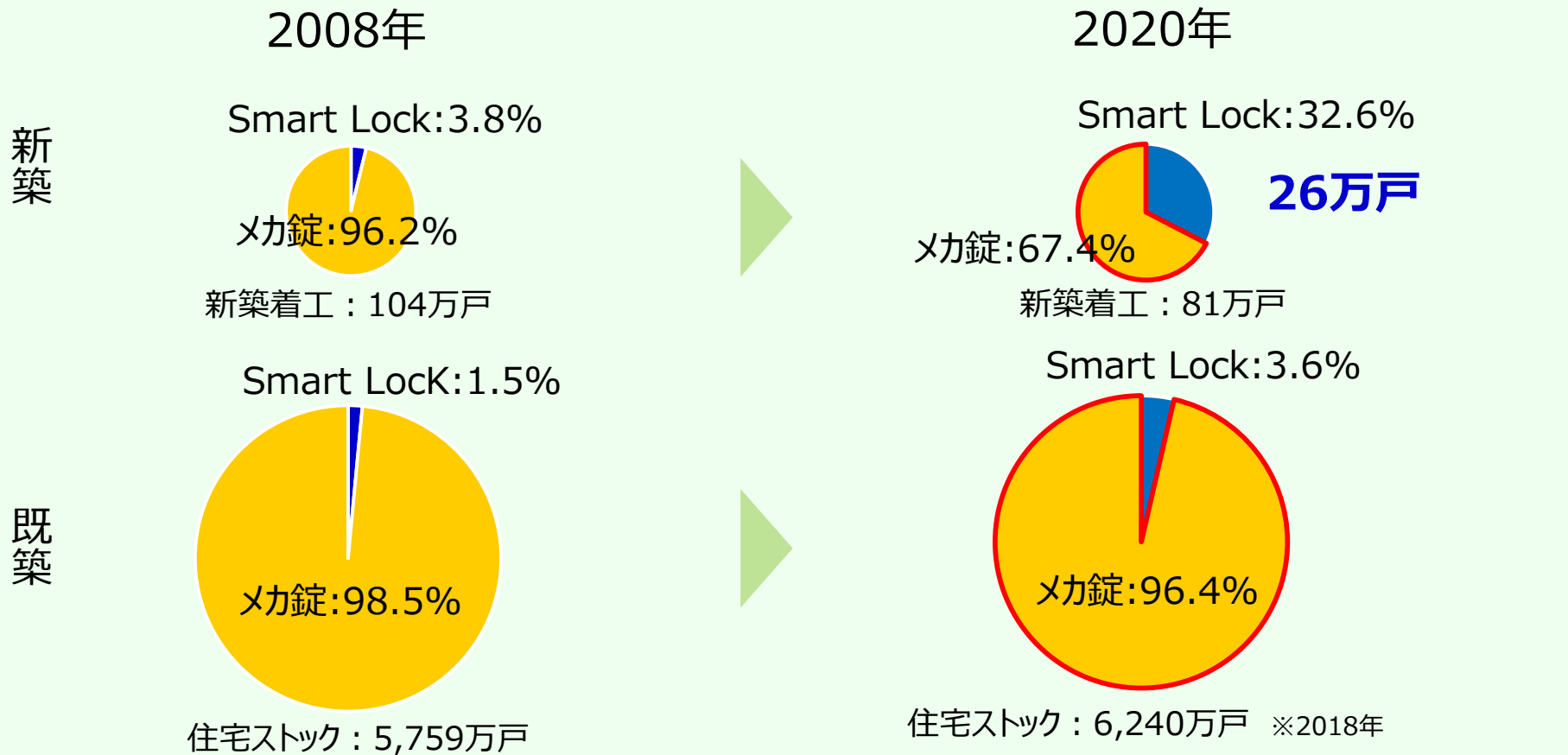
※2020年度 住宅着工戸数・各メーカーシェア・出荷数実績から推定

# 住設機器部門の市場規模と成長性

- 新築のSmart Lock採用率は、約10年で **4%から32%まで成長**。  
住宅着工数は減少しているが、Smart Lockは今後も**更なる需要拡大が期待**できる。
- また、既築は殆どが従来のメカ錠のまま。市場のポテンシャルは大きい。

住宅市場のSmart Lock普及率

■ : Smart Lock ■ : メカ錠



※新築…2020年度 出荷数実績及び住設建材住生活マーケティング便覧(出典: 富士経済)から推定。築5年未満。  
 ※既築…当社独自のインターネット調査結果 (2020年12月)

## 4. セキュリティ機器事業：ロッカーシステム部門

---

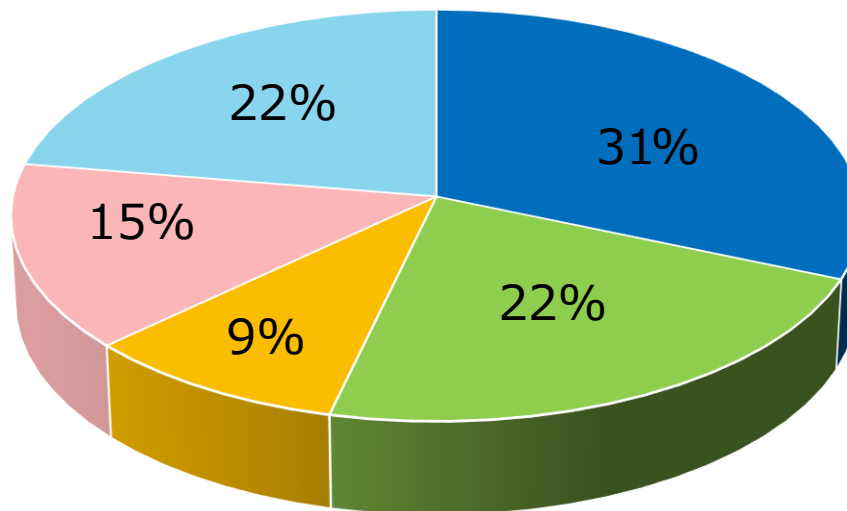
# ロッカーシステム部門の製品構成比

■ 売上の約60%を主力の3製品群が占める。

■ ターミナルロッカー



■ フリーボックス






■ レジャーロッカー



- ... ターミナルロッカー (オペ・リース含む)
- ... レジャーロッカー
- ... フリーボックス
- ... その他・物販
- ... 保守サービス

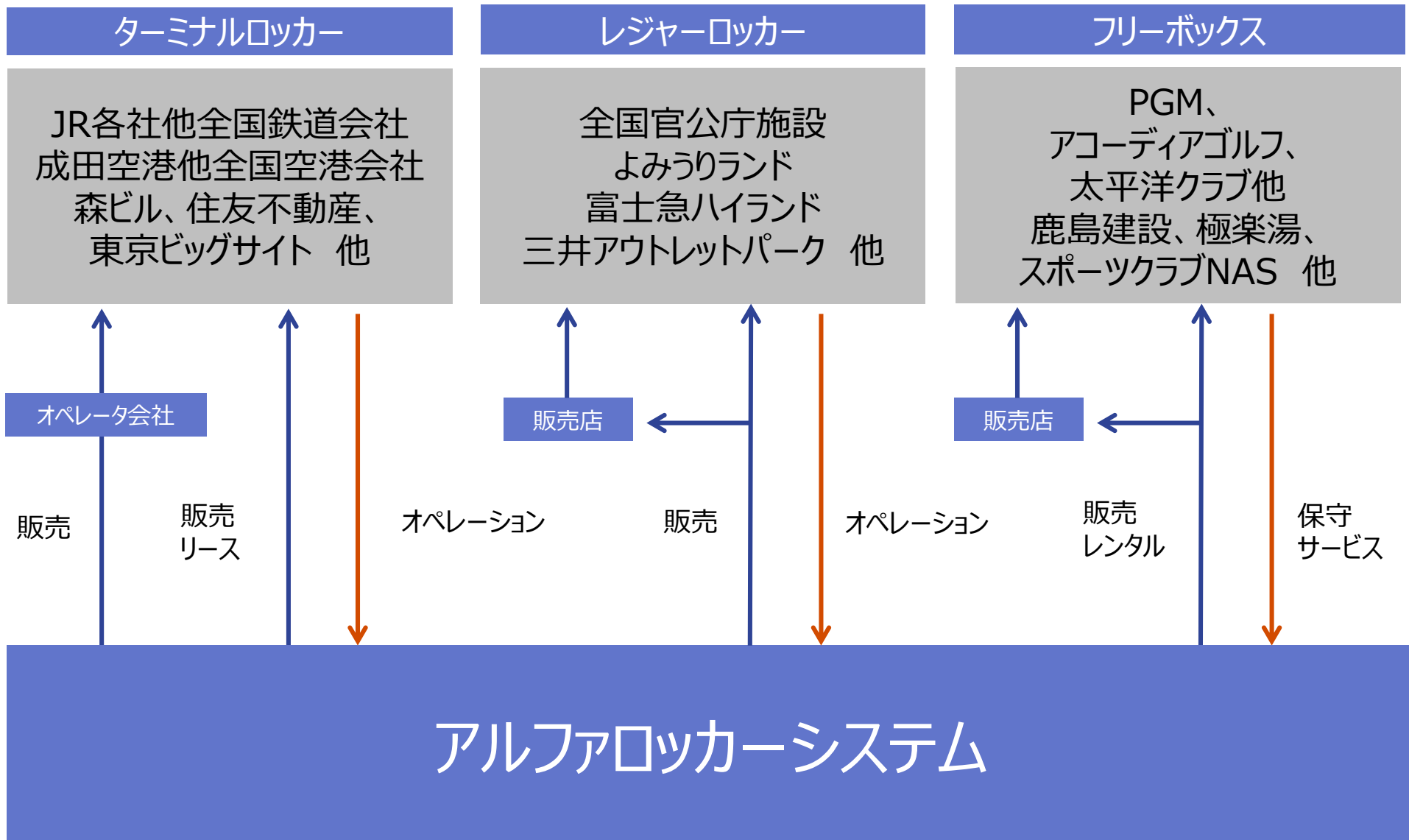
■ ロッカー専門メーカーとして50年以上の導入実績と様々な市場に最適なロッカーを開発、提供しています

	ターミナルロッカー	レジャーロッカー	フリーボックス
			
設置場所	駅、空港、展示場	プール、体育館、 テーマパーク	ゴルフ場、温浴施設、 フィットネスクラブ
販売形式	販売、リース、 オペレーション	販売 オペレーション	販売 レンタル
当社シェア	43% *1 (全国駅)	—	72% *1 *2
強み・特色	日本初Suica決済対応 宅配便受取り対応 遠隔管理	50年の設置実績 (市場ストック) 豊富なラインナップ	ゴルフ場実績No1 生体認証・ 非接触認証・PIN認証

- オペレーションとは、アルファロッカーシステム所有のコインロッカーを設置し、お客様との業務分担に応じて、売上金を分配するサービスです。
- Suicaは東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

\*1：自社調査      \*2：ゴルフ場設置シェア

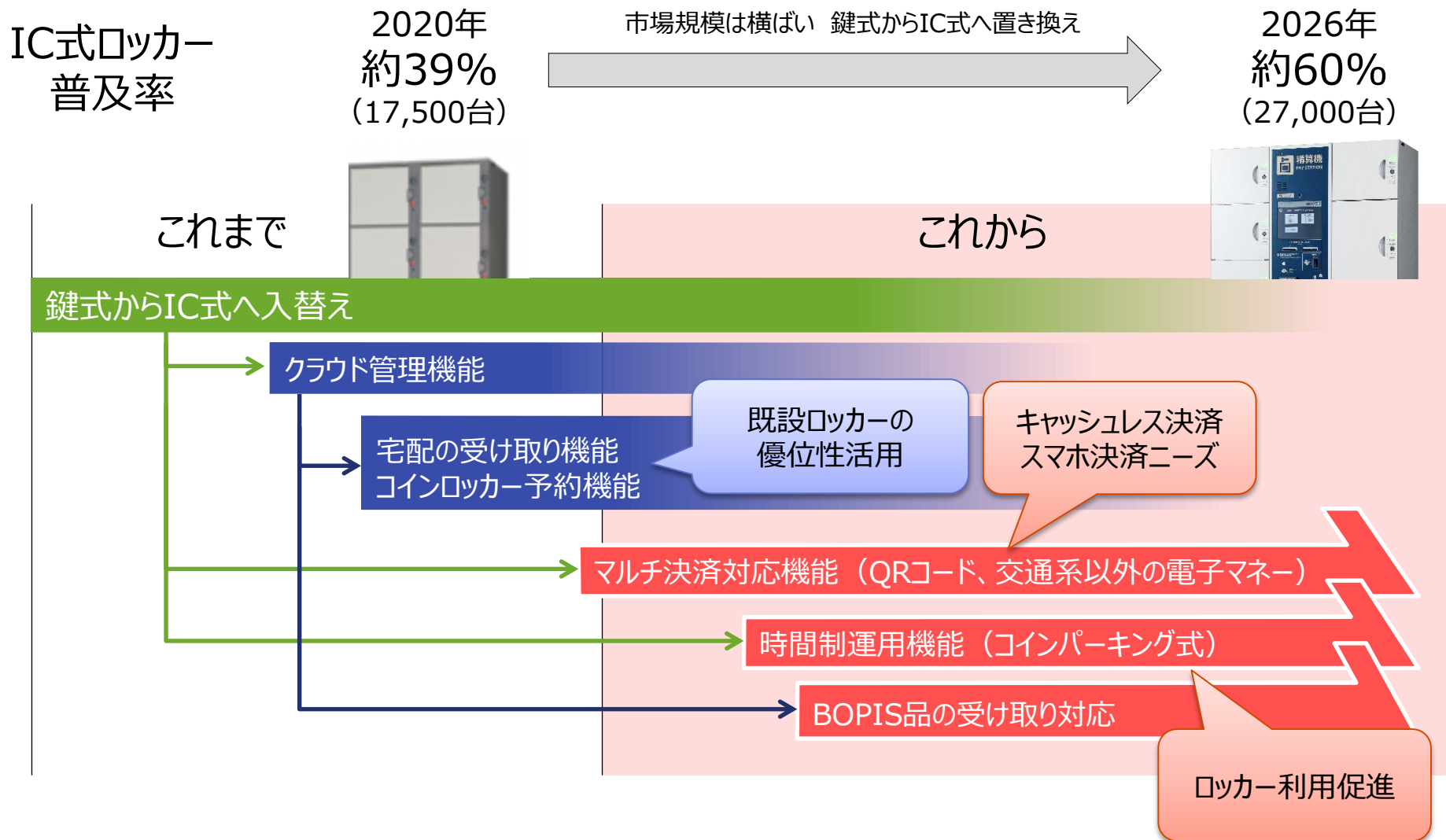
# ロッカーシステム部門 ビジネスモデル





# ロッカーシステム部門の市場規模と成長性

- ターミナルロッカー：コインロッカー + αの機能で新たなサービス対応が実現できることを付加価値として、IC式ロッカーへの入替えを促進 高付加価値商品へ入れ替える

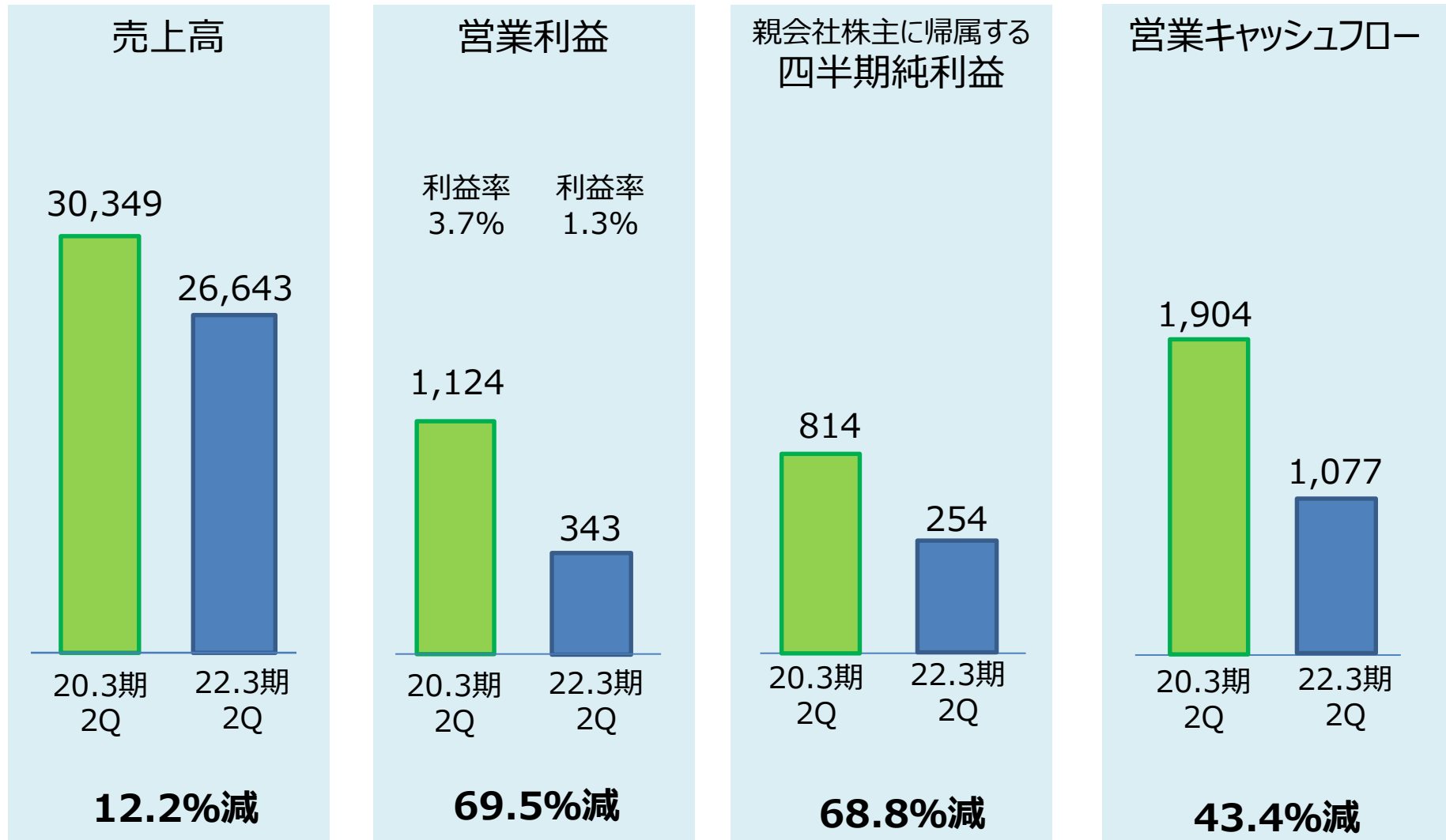


## 5. 2022年3月期第2四半期決算概要

---

## ➤ 主要財務指標（対20.3期第2四半期）

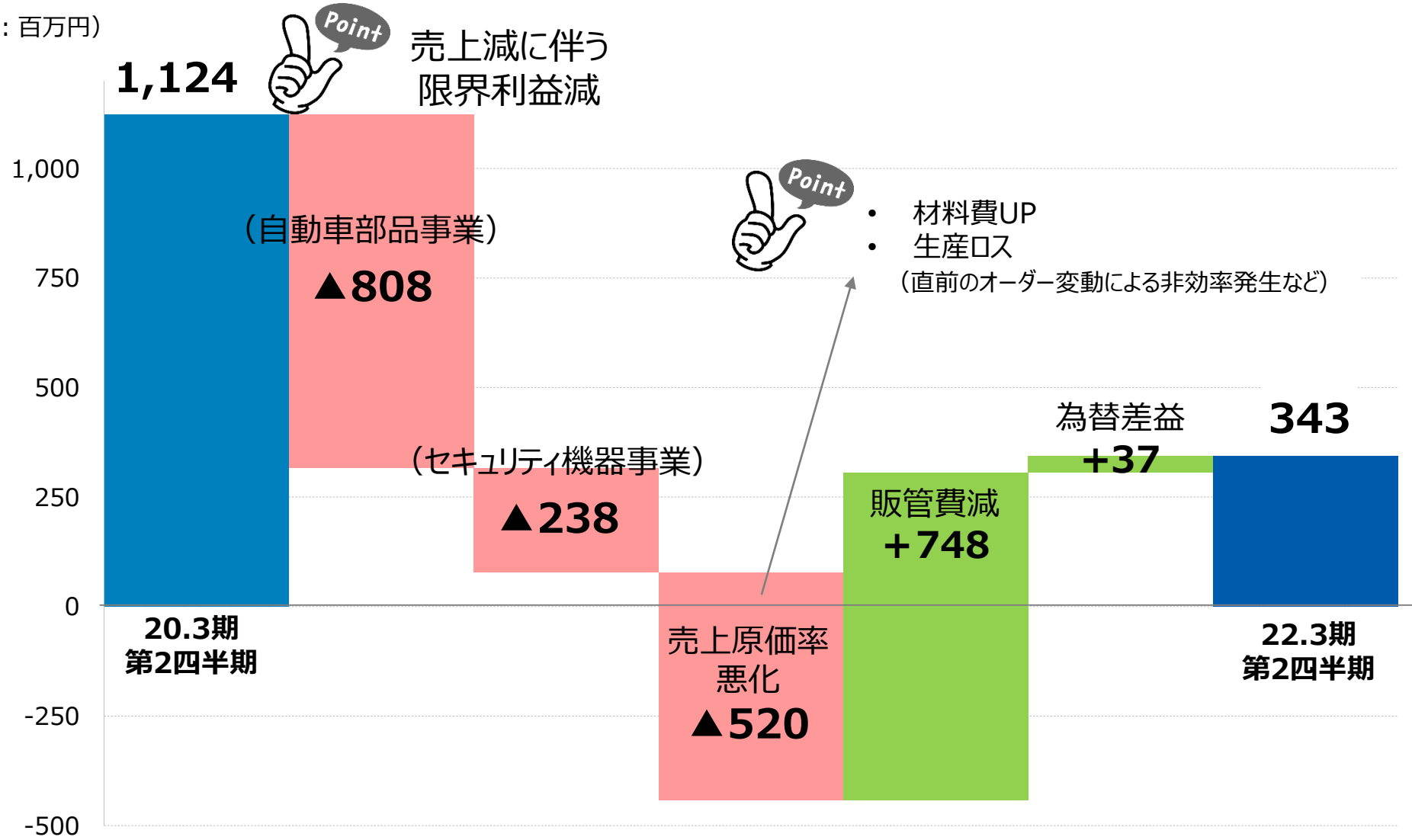
（単位：百万円）



# 2022年3月期第2四半期営業利益増減スカイラインチャート

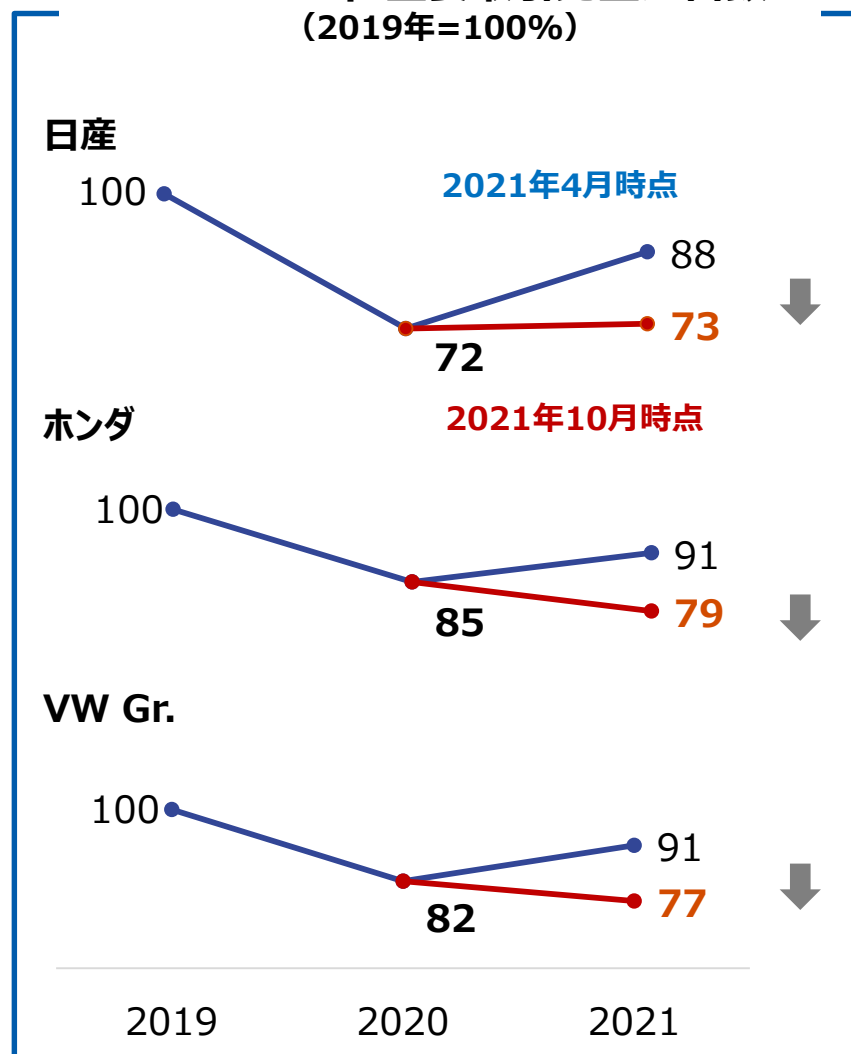
20.3期第2四半期比

(単位：百万円)



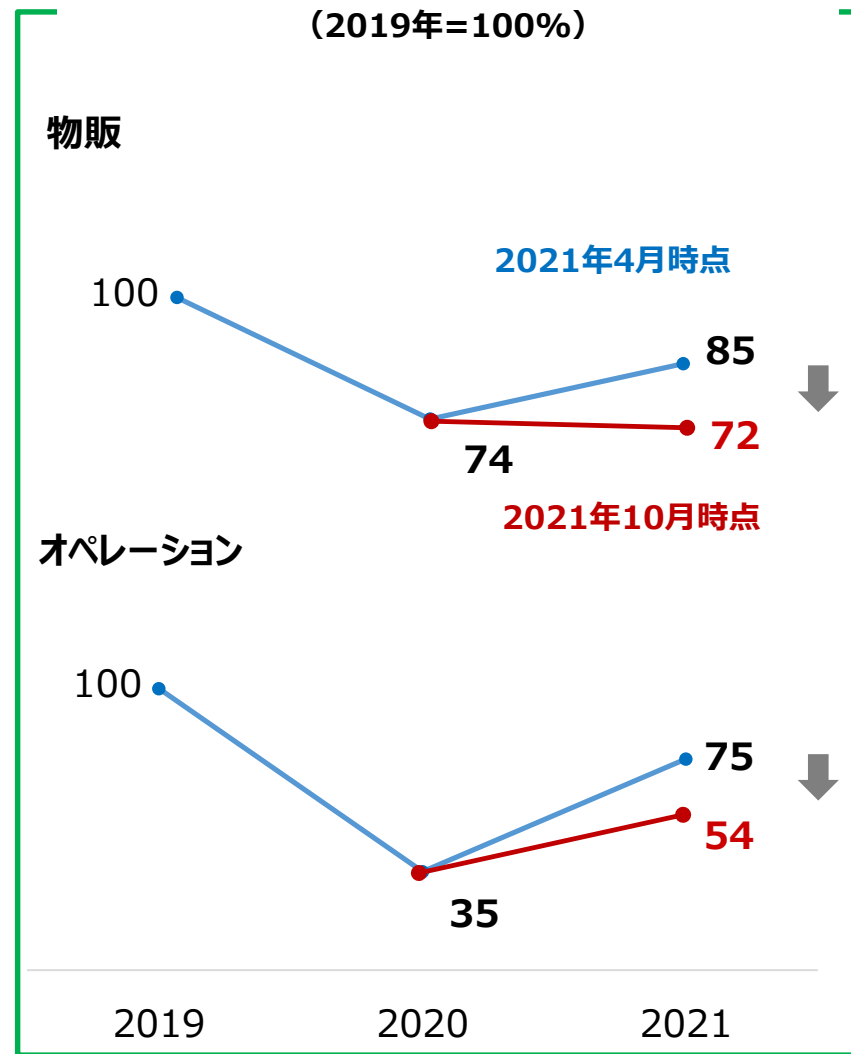
## ■ 自動車部品事業

2019～21年 主要取引先生産台数  
(2019年=100%)



## ■ セキュリティ機器事業 (ロッカーシステム部門)

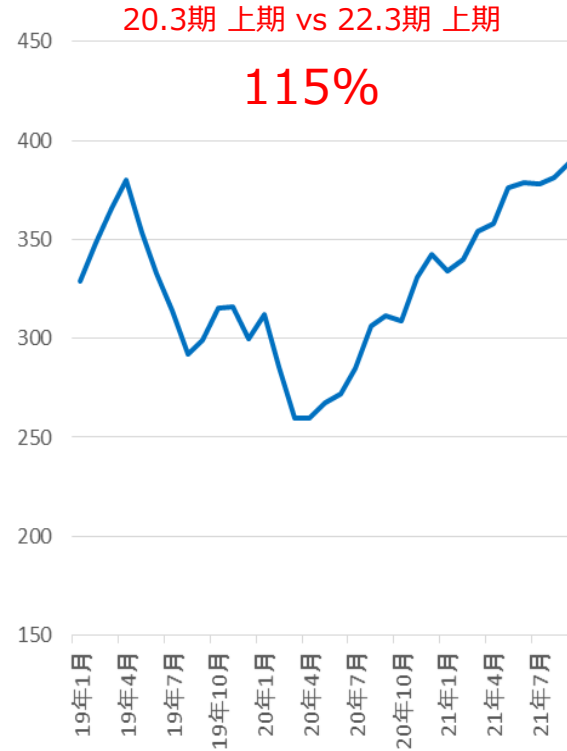
2019～21年 セグメント別売上高  
(2019年=100%)



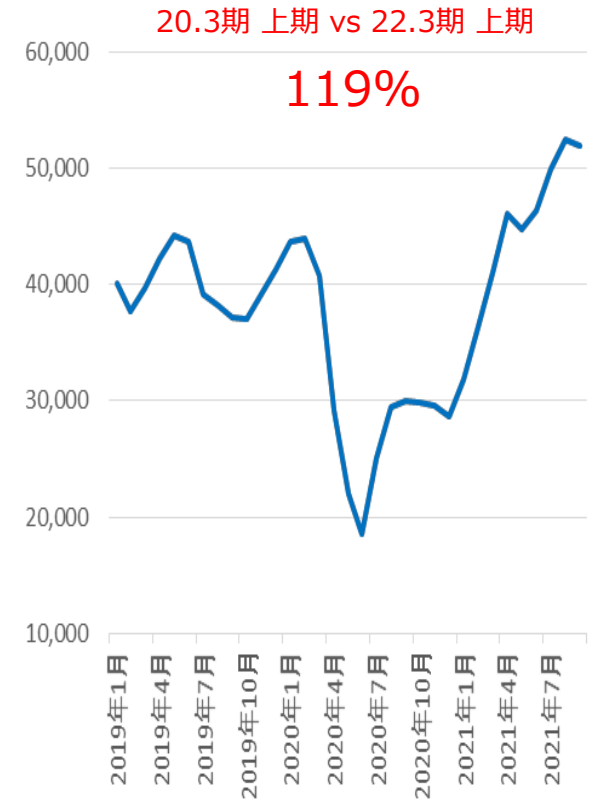
## ■ 銅価格 (円/kg)



## ■ 亜鉛価格 (円/kg)

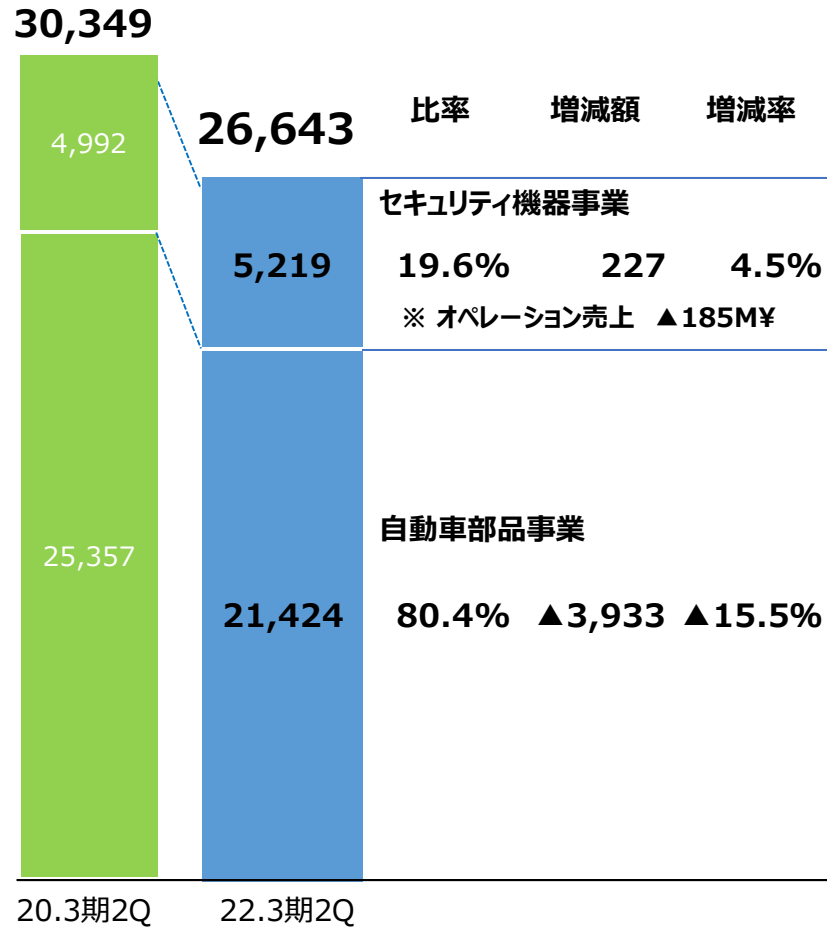


## ■ ナフサ価格 (円/kl)



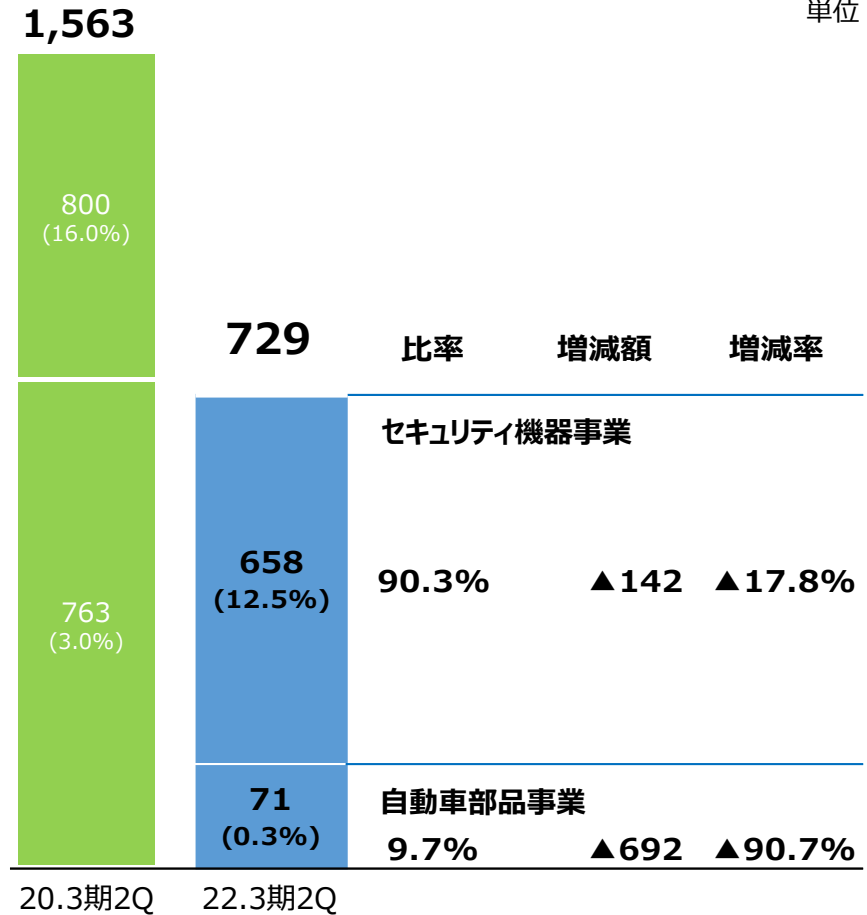
# 事業部門別の売上高・損益

## 20.3期第2四半期比売上高



## 20.3期第2四半期比営業利益

単位：百万円



注) 営業利益額は一般管理費等の消去を含めず、営業利益率はセグメント間の内部売上高を含む売上高より算出しております。

## **5. 中期経営計画の見直しと次期中期経営計画について**

---



コロナ禍からの脱出と更なる成長に向けた収益基盤の再強化を推進し、目標達成を目指す。

## 2022年度 中期目標

- |         |        |            |       |
|---------|--------|------------|-------|
| • 売上高   | 620億円  | • 新商品売上高比率 | 25%以上 |
| • 営業利益率 | 5.0%以上 | • 自己資本比率   | 50%以上 |
|         |        | • ROE      | 6%以上  |

## 基本方針

### 成長

[1]  
新事業・新商品開発

### 安定

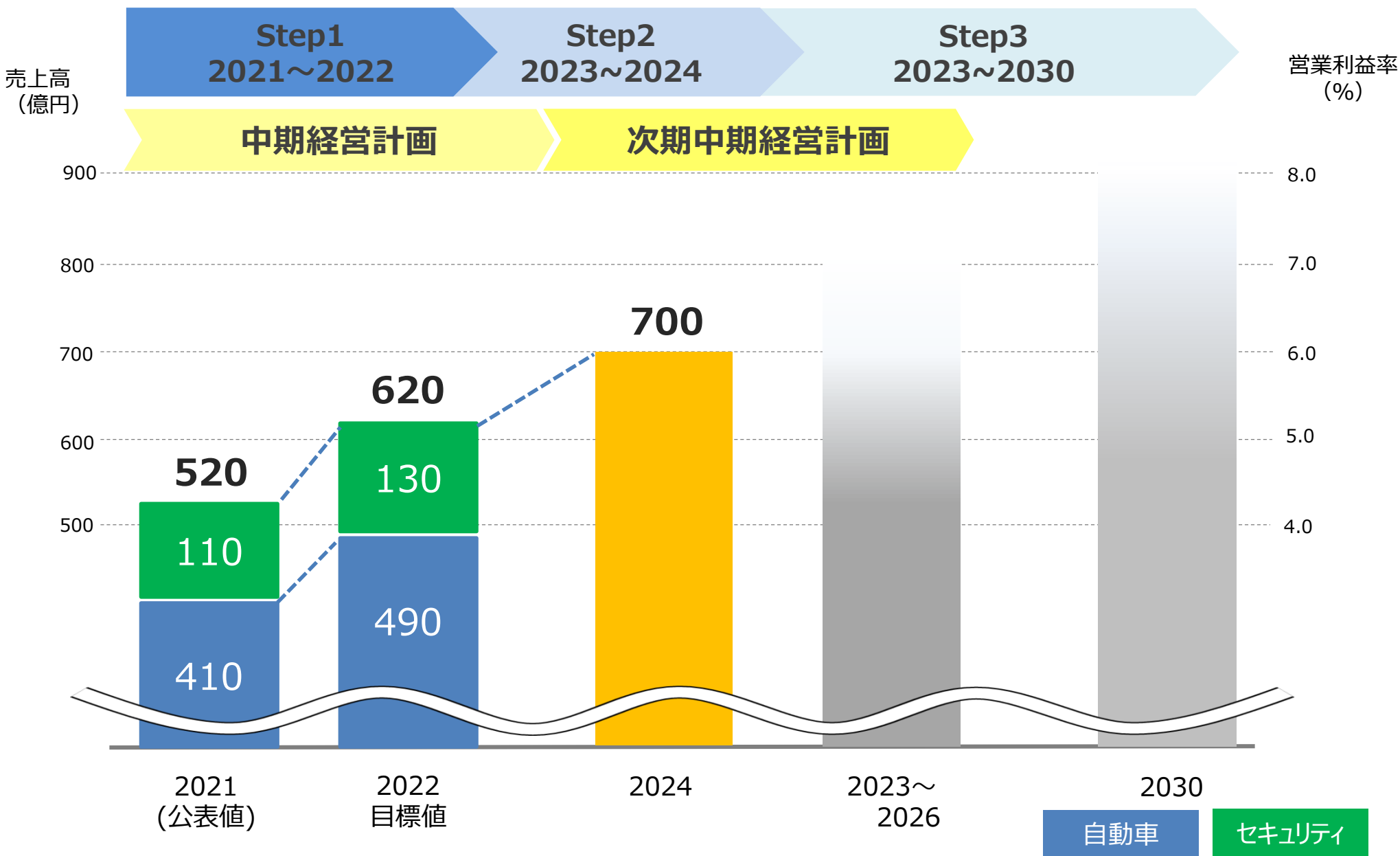
[2]  
収益基盤の再強化

### 人材育成

[1]・[2]を  
実現するための原動力

2021年11月24日見直し

# 中期経営計画目標のポジショニング



## ■ アルファ ビジョン2030

# Smart Access Lifeを創造する

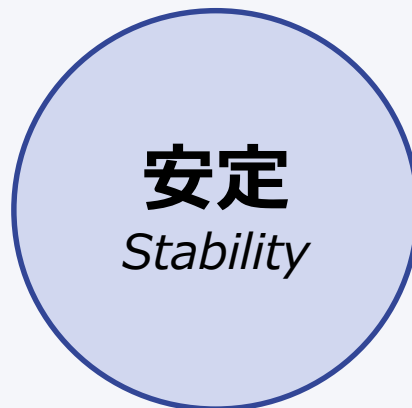
～暮らしのそばに、いつも・・・アルファ～



## ■ 基本方針と重点活動



- ・事業拡大への挑戦
- ・高付加価値製品の開発
- ・新ビジネスモデルの構築



- ・グループ経営基盤の強化
- ・モノづくり競争力の強化
- ・ROIC経営管理の実現



- ・サステナビリティ経営の推進
- ・Globalタレントマネジメント

# サステナビリティ経営の推進

アルファグループは、ESGに関する課題に適切に対応するサステナビリティ経営を推進することで、**事業リスクの最小化**と**事業機会の拡大**を実践し、**持続的な企業価値の向上**を図ります。

## 地球にやさしいアルファづくり

モノづくり、人づくりで  
脱炭素社会の実現に貢献する



- アクセスにおける、社会的課題の解決に貢献する
- 健康で働きがいのある職場づくり



安心・安全のステージを醸成する

目標達成のための土台

## アルファ版DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

①スマート工場化、②開発プロセスのデジタル化、③間接業務のデジタル化

## 26年度ROE 2018年度以上を目指す

ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本

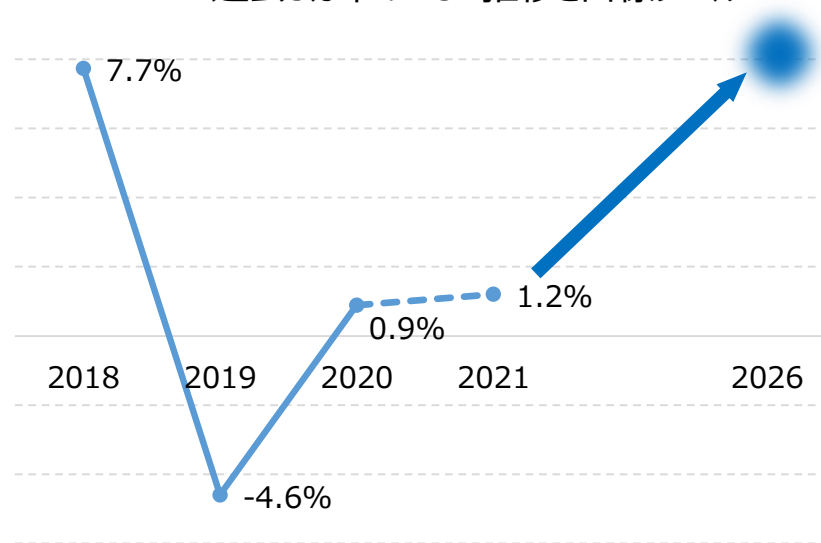
- ROE達成のための新指標として、次期中計よりROICを活用

## 26年度ROIC 過去3カ年以上を目指す

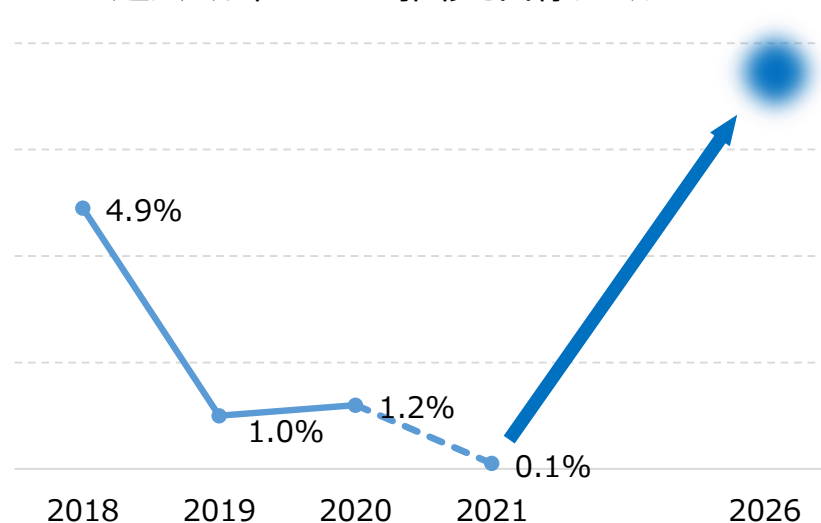
ROIC(投下資本利益率) = 税引後営業利益 ÷ 投下資本

- コロナ禍からの再生と拡大
  - ・ 各事業の営業利益の拡大
  - ・ 事業資産効率の向上

過去3カ年のROE推移と目標レベル



過去3カ年のROIC推移と目標レベル



## 6. 今後の事業戦略について

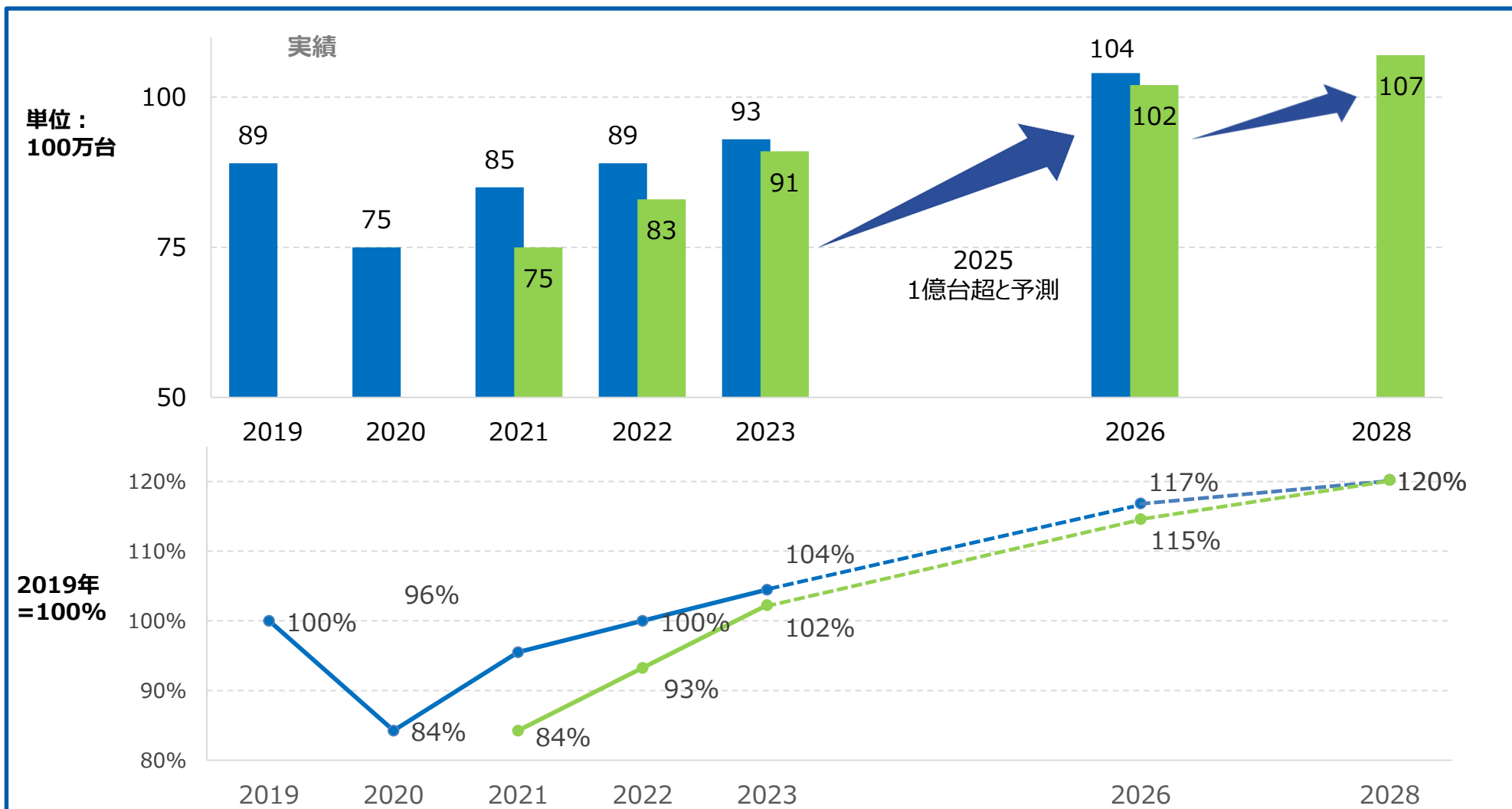
---

## 最新予測では、2019年と同水準までの台数回復は23年と見込む

## 世界自動車生産台数-実績と予測-

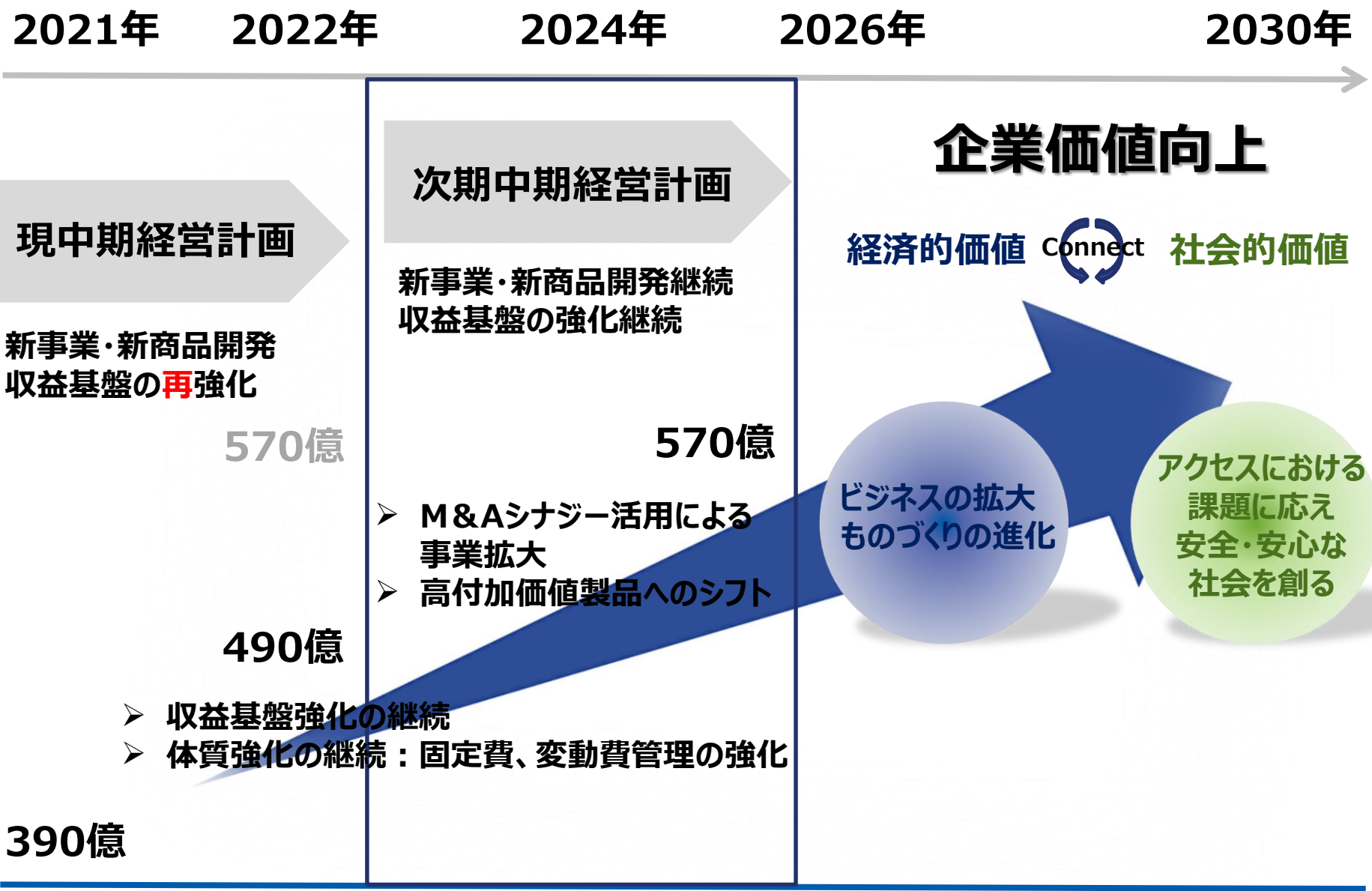
2021年4月時点

2021年10月時点





# 自動車部品事業 全体構想

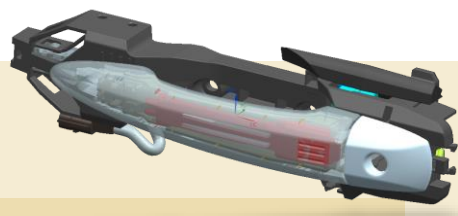


## 高付加価値製品へのシフト

▶フラッシュハンドル



▶センサー適用



▶システムモジュール製品

## M&A シナジー活用による事業拡大

- ▶ 欧州カーメーカー
- ▶ 中国ローカルカーメーカー
- ▶ トラック事業



既存ビジネス



- これまで進めてきた収益基盤の強化をさらに加速させ、突発的な環境変化でも安定した利益を創出できる事業構造へ変革する。



- **モノづくりの徹底した強化**
  - ✓ リードタイム・タクトタイムの短縮
  - ✓ 徹底したIot化
- **固定費の最適化**
  - ✓ 生産設備キャパの有効活用
  - ✓ 間接業務プロセス改革
- **市場変化へのフレキシビリティ対応**
  - ✓ 事業構造改革
  - ✓ リージョン経営の深耕
  - ✓ フレキシブル工順、生産体制
  - ✓ グローバルSCMの再構築

# 住設機器部門 チャネル戦略の強化

- 持家は、YKK APとの連携で新築、リフォームでのSmart Lock採用・シェアの拡大する
- 賃貸市場は、大手・準大手を中心に採用の獲得・拡大を図る。新築での採用がストックビジネスにも繋がる。

		新築	既築
持家	戸建	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ YKK APの玄関ドアへの採用拡大 (共同開発で商品ラインナップを拡充)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ YKK APのリフォームドアへの採用拡大</li> <li>■ <b>ECサイトによるBtoCビジネスの構築</b></li> </ul>
	集合住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ YKK APのマンションドアへの採用</li> </ul>	
賃貸	集合住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大手・準大手ビルダー19社への採用獲得及び拡大(積水、大和、東建を重点)</li> <li>■ サッシメーカー、代理店を活用した中小ビルダーへの拡販</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 過去edロックシリーズを販売した先への取替提案 (ストックビジネス)</li> </ul>

- エンドユーザーへの認知訴求と購入窓口の提案として、Web広告・ECサイトを21年9月に開設



- IoTでシステムや顧客と“つながる”次世代edロックを開発し、23年発売を目指す。

## システム会社の入居者サービス

家事代行サービス



食品配達



## システム会社の住宅IoT



見守りサービス



宅配クリーニング



## edロックConnectのシステム構成 (案)



システム会社のChipを搭載したコネクタを差込む事で連動する。(OTPもこれで可能となる)

BLE無線通信



テンキー  
ICカード

スマートフォン



無線通信

2ロック目は  
オプション



認証オプション

- ・パッシブ・リモコン
- ・タグキー
- ・顔認証 (戸建は標準)

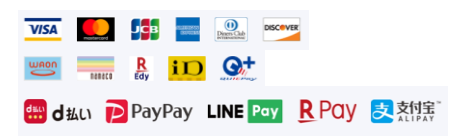
## 「預け入れ・受け渡し」に関わるソリューションの創造

### 拡大のシナリオ

既存市場

- オペ事業の構造改革（利益体制確保）
- ストックビジネスの促進（SFAシステム活用）
- 駅ロッカー時間制運用提案（利用促進）

- コトビジネス提案
- マルチ決済対応
- ロッカー管理業務受託
- 駅ロッカーで商品受け取り



新規市場

**BOPISロッカー**  
(非対面・効率化)



- モバイルオーダー連携
- 決済機能
- 冷蔵機能
- サイズバリエーション
- 屋外仕様

**飲食店**  
ホームセンター  
アパレル  
etc..



**ホテル向け  
手荷物預かり**  
(省人化・非対面)

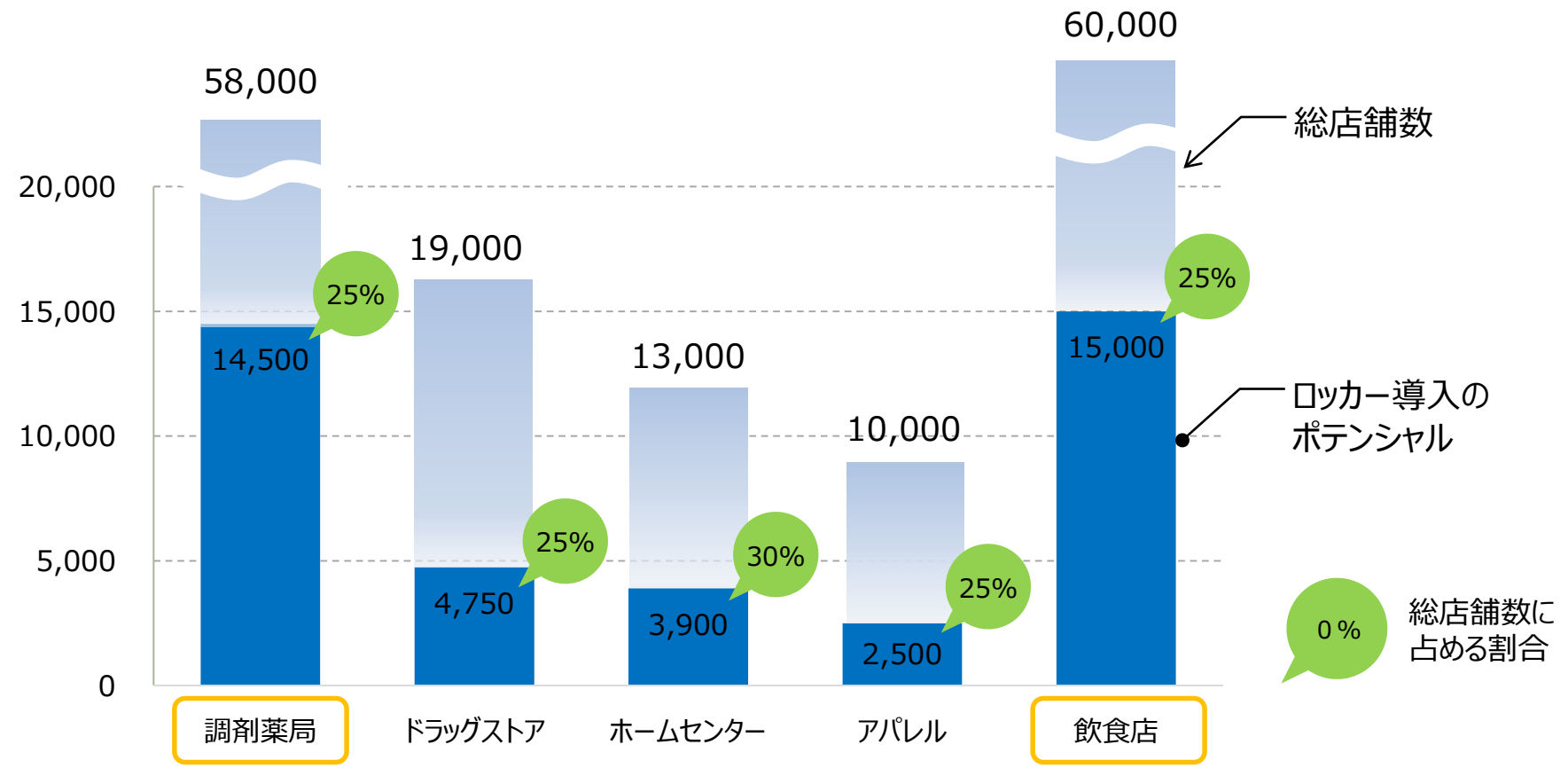


・ラインナップ  
展開



**派生商品**  
個別案件対応  
PoC検証

## ■ 業界別市場規模とロッカー導入ポテンシャル



ロッカー導入が見込まれる市場（業容）調剤薬局 飲食店 を重点市場とする

1. 調剤薬局：OL服薬指導の進展に伴う需要増を見込む ※当社設置実績・引合増中
2. 飲食店：フードテック来場者の反応からテイクアウト用途を主に需要増を見込む

※ポテンシャルはこれまでの営業活動から想定

## 働き方改革支援

## <非対面・非接触 製品の拡充>

ターゲット (業界・市場)	宅配業者	不動産管理会社	駅・店舗・ホテル
効果	再配達問題の解消	物件案内の手間削減	様々な受渡しの手間・人手削減 非対面・非接触による受け渡し
対応製品	<p>宅配ボックス 戸建・アパート用</p>  <p><b>ed-CUBE</b> 2018年発売</p> <p>宅配ボックス マンション用</p> 	<p>賃貸・戸建住宅向け 新型電気錠</p>  <p><b>ePPH</b> 2020年5月発売 ワンタイム機能付き 機能UP (2020年秋)</p> <p>キーレステンキー錠 edロックPLUS</p>  <p><b>edロックPLUS</b></p>	<p>宅配便受取り</p>  <p>駅コインロッカーで 宅配便受け取り</p> <p>ホテルフロント 手荷物</p>  <p>都内ホテル等</p> <p>Wi-Fiルーター貸し出し</p>  <p>主要空港 Wi-Fiレンタル店舗</p> <p>処方薬受け渡し</p>  <p>調剤薬局・ドラッグストア等</p>



## ◆ 自動車部品事業

- ✓ 高付加価値製品へのシフト
- ✓ M&A シナジー活用による事業拡大
- ✓ 収益基盤の強化

## ◆ セキュリティ機器事業

- 住設機器部門
  - ✓ チャンネル戦略の強化
  - ✓ スマート化への取り組み
- ロッカーシステム部門
  - ✓ 「預け入れ・受け渡し」に関するソリューションの創造
  - ✓ 受け渡しロッカー-BOPIS



### 本資料についてのご注意




本資料の業績予測、見通しおよび事業計画については、現時点における将来環境予測等の過程に基づいております。  
本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

# 参考. 事業概要 (2020年度)

- コロナウイルス感染拡大に伴う得意先減産の影響で自動車部品事業の売上が大幅にダウン
- 賃貸物件、ロッカー利用減の影響を新築戸建て物件拡販でカバー

事業名		売上高 (億円)		営業利益(億円)			事業概要	当社の強み
		金額	構成比	金額	構成比	利益率		
自動車部品事業		385	80.8%	4.5	26%	1.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ OEM (売上構成比) 日産 48%、ホンダ 10%、VW 18%</li> <li>■ 地域別 (売上構成比) 日本 14%、アジア 38% 北米 24%、欧州 24%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自動車ロック関連は重要保安部品であり、暗号化技術などで参入障壁が高い</li> <li>■ 成長ドライバーは欧州系・中国系 OEMへの拡販</li> </ul>
セキュリティ 機器事業	住設機器 部門	91	19.2%	11.5	72%	12.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製品別 (売上構成比) スマートロック 71% 宅配ボックス 2%</li> <li>■ チャンネル別 (売上構成比) 新築戸建 60% 賃貸物件 (新築・既築) 40% 既築戸建 (新チャンネル) 0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自動車製品技術の適用と高い品質の担保、信頼</li> <li>■ 全国サービス網。 スマートロック市場シェア50%超</li> <li>■ ビットキー社との提携：協業によるスマートロックのさらなる市場展開を狙う</li> </ul>
	ロッカー システム 部門						<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅・公共施設・レジャー施設・ゴルフ場向けロッカー</li> <li>■ ネット購入店舗受け渡し (BOPIS) ロッカー事業展開 (20年度 販売開始)</li> <li>■ 既存事業で培ったブランド力を生かし様々な業界各社業へアプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交通系ICカード対応ロッカーは関東地区シェア65% *1</li> <li>■ ターミナルロッカーなどで培った高い技術と品質</li> <li>■ 全国サービス体制</li> </ul>
計		476	100%	16	100%	3.3%		

\*1：自社調査

	Smart Lock		メカ錠
	戸建住宅向け電気錠 	賃貸住宅向け電気錠 	
販売先	ハウスメーカー、ドアメーカー	ビルダー、賃貸管理会社、 ドアメーカー、代理店	ドアメーカー、代理店
採用の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドアメーカーが自社ブランドとして採用（錠前メーカーと共同開発）</li> <li>・一部大手ハウスメーカーのみ独自採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃貸管理会社、ビルダーが錠前メーカー各社の製品から採用</li> <li>・ドアメーカー、代理店が錠前メーカー各社の製品をカタログ採用</li> </ul>	ドアメーカーは過去の採用が継続
当社の主な採用先	YKK AP, 積水ハウス	大和ハウス, 積水ハウス不動産グループ 東建コーポレーション, YKKAP, LIXIL, 三和シャッター工業	LIXIL, 三協アルミ, 杉田エース, マツ六
強み・特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パッシブキー、ICカードで鍵の開閉、持ち運びが簡単・便利</li> <li>・新築での標準採用が増加</li> </ul>	賃貸管理ノウハウに基づく仕様設計 (暗証番号や空室運用モードで鍵管理業務を軽減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年、30年経過した製品が多い</li> <li>・交換需要で一定の売上を維持</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社での一貫開発、生産による品質技術（メカトロ技術、樹脂成形パッケージ技術、基板回路・ソフト一貫開発）</li> </ul>		

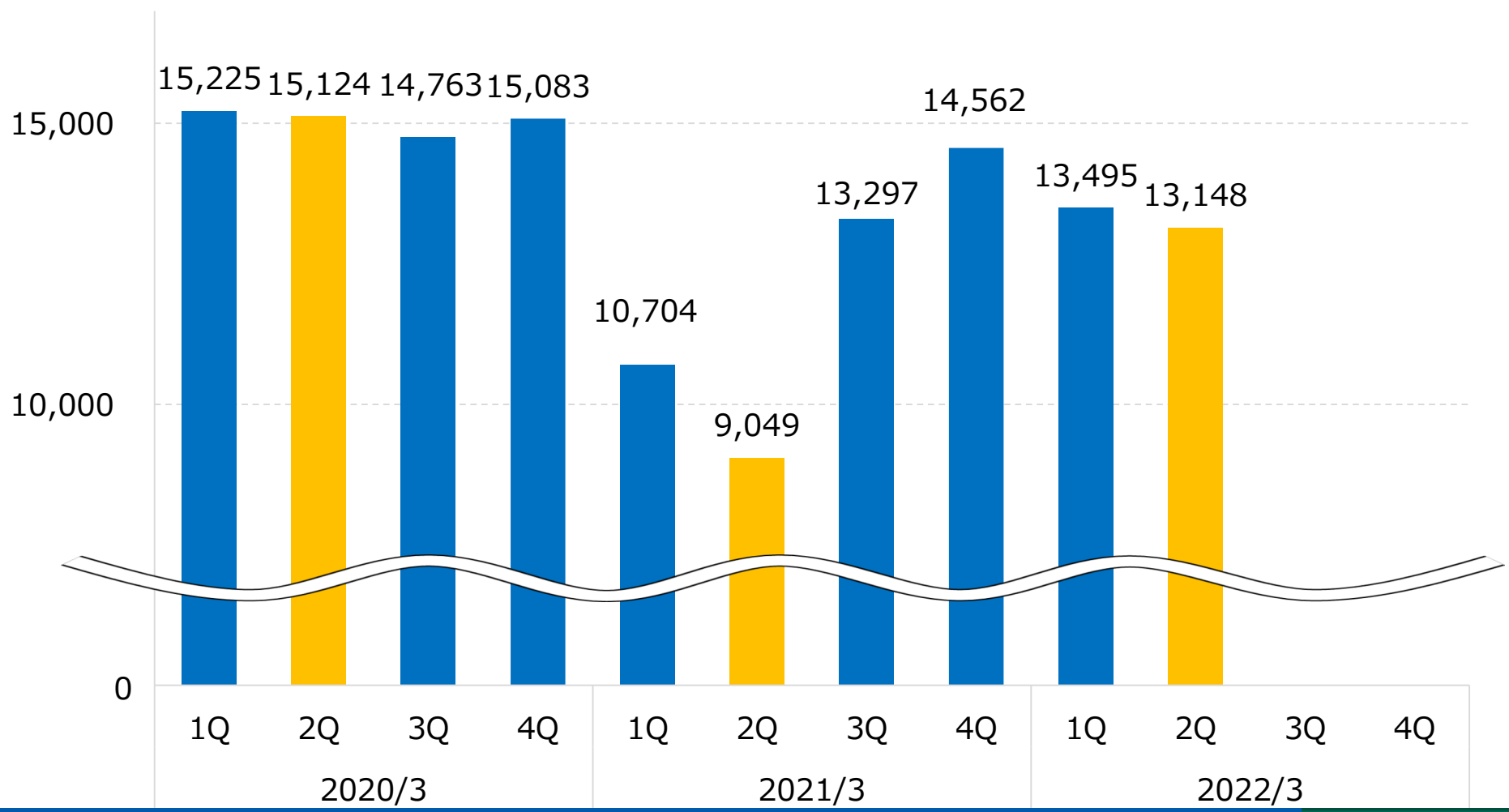
四半期別 連結売上高推移

百万円

60,344

47,612

公表値 : 52,000



## 四半期別 営業利益・営業利益率推移

百万円

